

2021 年度
(令和 3 年度)
事 業 報 告

社会福祉法人 悠久会

社会福祉法人 悠久会 2021 年度 事業報告
目次

1. 事業別概要	P1
①(従来型)特別養護老人ホーム八千代城	P3
②(従来型)特別養護老人ホーム八千代城 短期入所生活介護	P5
③ユニット型特別養護老人ホーム八千代城	P7
④八千代城デイサービスセンター	P9
⑤グループホーム悠々やちよ	P13
⑥ケアハウス青空	P15
⑦八千代市在宅介護支援センター八千代城	P17
⑧八千代市八千代台地域包括支援センター	P19
2. 特別養護老人ホーム八千代城 (従来型特別養護老人ホーム)	P21
3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城	P27
4. 八千代城デイサービスセンター	P33
5. グループホーム悠々やちよ	P41
6. ケアハウス青空	P45
7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城	P47
8. 八千代市八千代台地域包括支援センター	P49

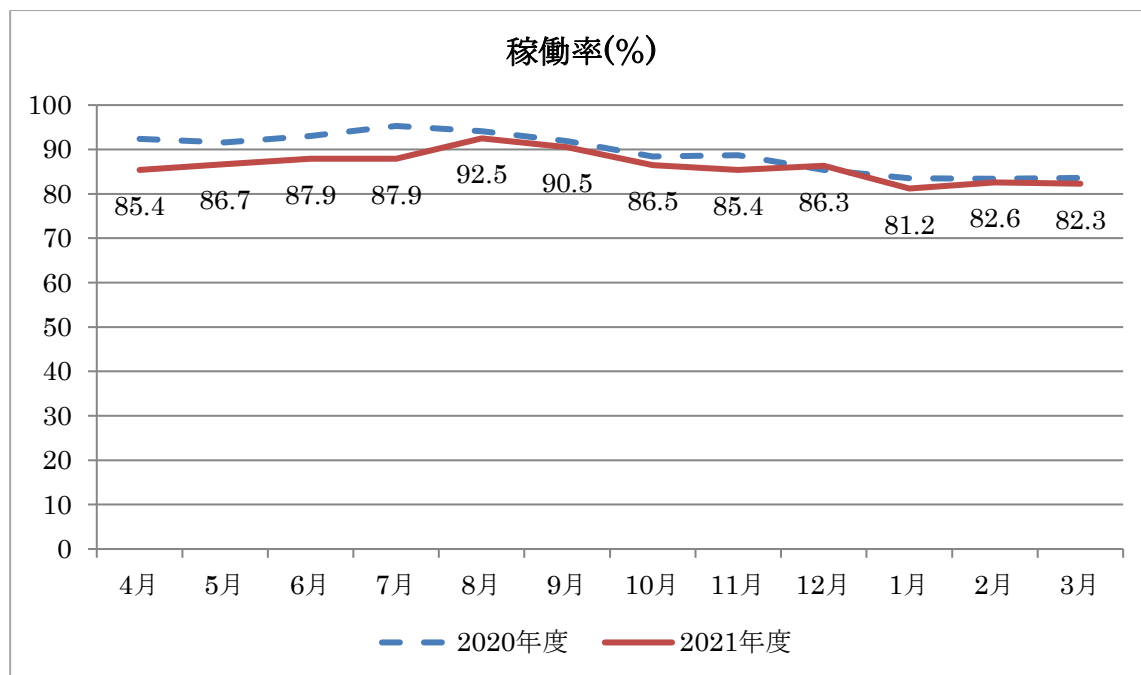
事業別概要

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城
2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 短期入所生活介護
3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城
4. 八千代城デイサービスセンター
5. グループホーム悠々やちよ
6. ケアハウス青空
7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城
8. 八千代台地域包括支援センター

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 長期入所 定員 68 名

(1) 稼働状況

年月	2021 年(令和 3 年)									2022 年(令和 4 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	1744	1828	1794	1854	1952	1848	1824	1744	1821	1713	1574	1736
100 % 時	2040	2108	2040	2108	2108	2040	2108	2040	2108	2108	1904	2108



年間平均稼働率 86.32% 前年度比 -2.99% (前年度 89.31%)

- ・年間入所者数 15 名 ・年間退所者数 17 名(前年度入所 17 名 退所 18 名)
- ・平均要介護度 3.64

○他施設と事前面接が重なるケースが増えており、比較的受入が容易と想定されるケースは他施設と取り合いのようになることもある。

○相談員が介護業務の補助に入ることが多く、新規受け入れに当たっての事前面接のスケジュール調整が難しいことが多い状況にある。退所後の補充に遅れが生じがちであった。

○年間延入院人数(日数)が1,481人(日)と非常に多かった。

(2) 報告事項・課題点等

○感染症対策

- ・施設内での新型コロナ陽性者発生はなし。感染疑いでの隔離は発生した。
- ・面会については年度を通じて原則リモートでの対応(5月18日現在も継続)。直接面会できないことに対するクレームまではないが、対面による面会の希

望は増えてきている。いつ頃から可能かなどの問い合わせが増加傾向。

○職員状況

- ・夜勤に入ることができる職員の確保が進んでいない。
- ・相談員やケアマネージャーが介護補助に入らなければならない場面が多い。

○事故等

- ・医療機関受診を要した事故(転倒による骨折等) 6件
- ・誤薬・軽微な傷などは多くあり。

○行事等

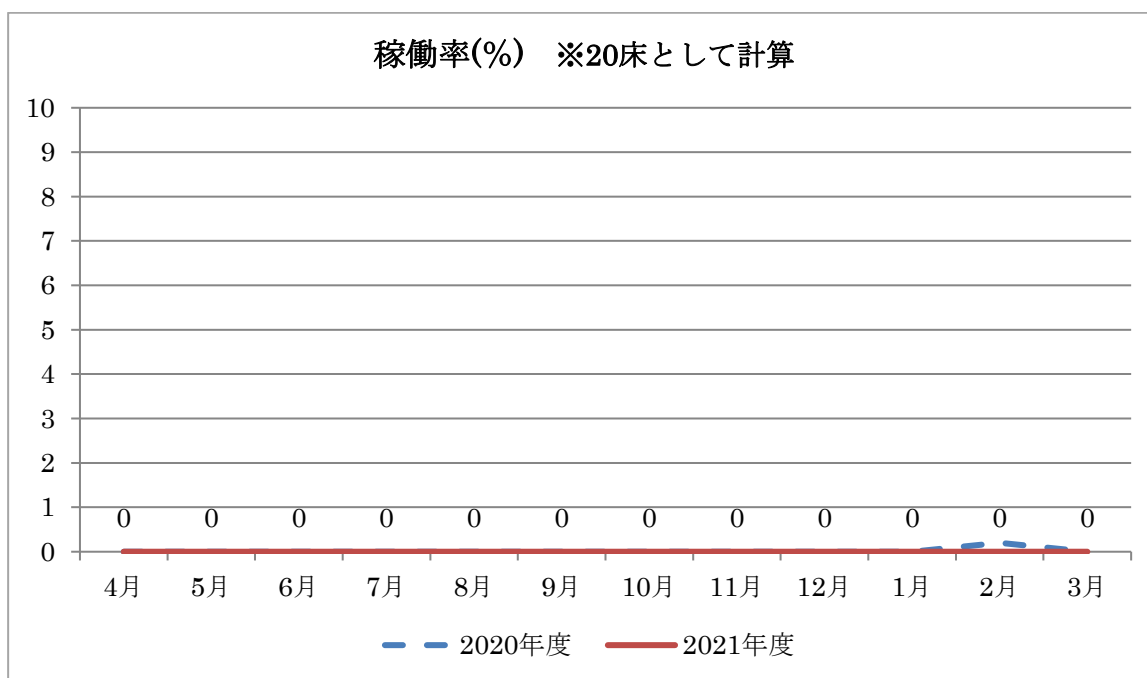
- ・新型コロナの影響で本格的な外出行事はできなかったが、年度末頃から散歩程度は実施するようになってきている。
- ・室内レクや行事食で気分転換を図るよう努めた。
- ・園芸の希望が利用者から出ているので、次年度は実施を検討する。

2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 短期入所生活介護(ショートステイ)

※(定員20名の併設型は2015年9月1日よりサービス休止)(空床型のみ運用中)

(1)稼働状況

年月	2021年(令和3年)									2022年(令和4年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100%時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



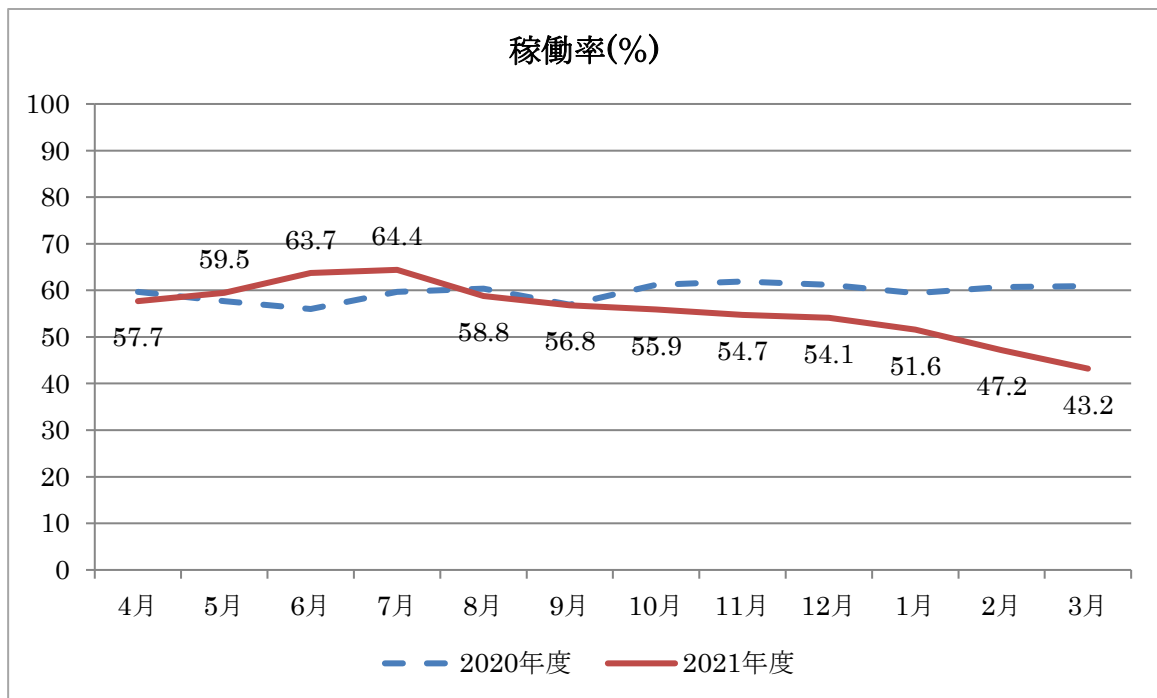
年間平均稼働率 0.00% (前年度 0.00%) ※20床として算出した場合の稼働率

- ・介護職員・看護職員の不足により、併設型は引き続き休止しています。今年度、稼働はありませんでした。

3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城 定員45名

(1) 稼働状況 ※職員数不足により45床中30床のみ稼働中

年月	2021年(令和3年)									2022年(令和4年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	779	831	860	899	821	768	780	739	755	720	595	603
30床満床時	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930
45床満床時	1350	1395	1350	1395	1395	1350	1395	1350	1395	1395	1260	1395



年間平均稼働率 55.66% 前年度比 -4.03% (前年度 59.69%)

(※45床中30床のみ稼働中 30床満床で稼働率 66.66%)

- ・年間入所者数 3名 ・年間退所者数 10名 (前年度 入所 8名 退所 7名)
- ・平均要介護度 3.31

○年度末に新型コロナウイルスの施設内感染が発生。感染症対応に追われ稼働が低下してしまった。

○年間延入院人数(日数)が664人(日)と多かった。

○利用料が従来型と比べて高いため負担が大きく、従来型へ移動の希望が出ることがある。今年度は1名の方が実際に移動している。

○他施設と事前面接が重なるケースが増えており、比較的受入が容易と想定されるケースは他施設と取り合いのようになることもある。

○相談員が介護業務の補助に入ることも多く、新規受け入れに当たっての事前面接のスケジュール調整が難しいことが多い状況にある。

(2) 報告事項・課題点等

○感染症対策

- ・2022年2月に利用者・職員に複数名新型コロナ陽性者が発生。保健所の指導の下、ゾーン分け等実施し対応する。通常体制に戻るまで約1か月かった。
- ・面会については年度を通じて原則リモートでの対応(5月18日現在も継続)。直接面会できないことに対するクレームまではないが、対面による面会の希望は増えてきている。いつ頃から可能かなどの問い合わせが増加傾向。

○職員状況

- ・夜勤に入ることができる職員が少ない為、正職員はほぼ夜勤のみとなってしまうことが多い。
- ・入浴介助(特浴)についてはケアマネージャーが担当する状況が続いている。

○行事等

- ・職員数に余裕がなくあまり企画行事等を実施する余裕がなかった。

○事故等

- ・医療機関受診を要した事故(転倒骨折等) 6件

○その他

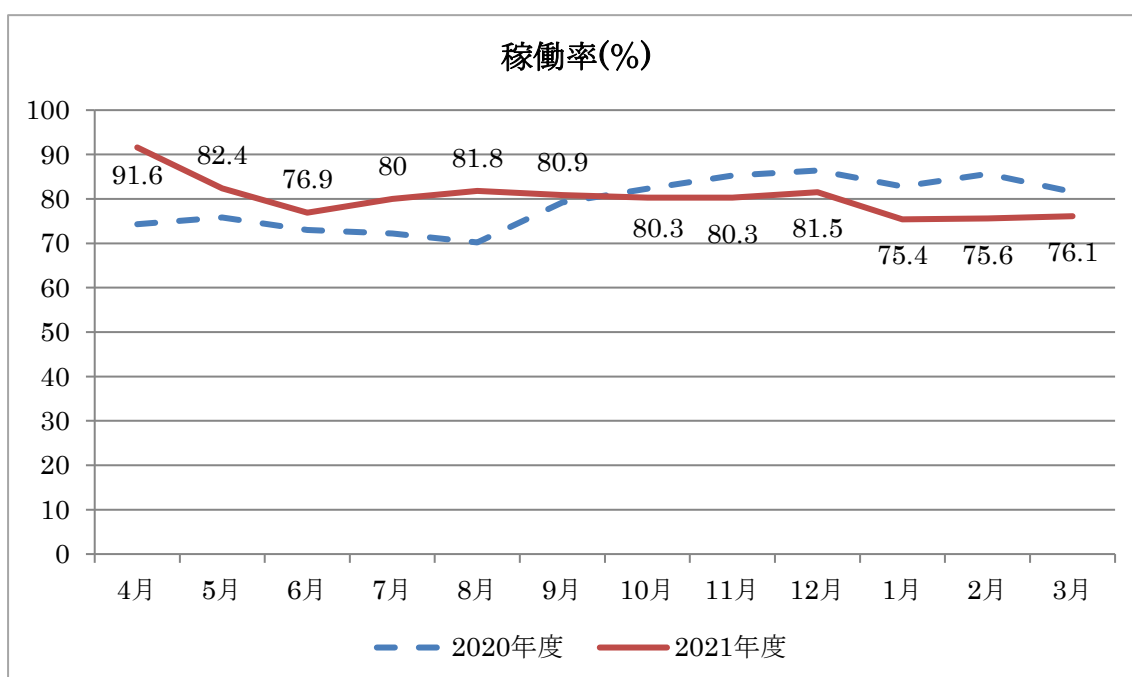
- ・職員間での報告・連絡・相談が徹底されていな時が見受けられた。ミーティング等により改善に努めている。

4. 八千代城デイサービスセンター

定員 18名/日

(1) 稼働状況

年間営業日数	309日
延べ利用者数	4,468人
100%稼働時延べ利用者数	5,562人
1日あたり平均利用者数	14.4人
年間稼働率	80.28%
平均要介護度(2022年3月)	要介護2.00
登録利用者数 (2022年3月現在)	29名



- ・年間平均稼働率 80.28% 前年度比 +1.18% (前年度 79.10%)
- ・平均介護度 2.0
- ・新規利用者数 11名 利用廃止者数 9名 (前年度新規13名 廃止13名)

○他事業所で断られたケースの依頼が増えてきており、そのようなケースを受け入れていく体制作りが課題。

○他事業所ケアマネージャーからの受け入れ件数が増加している。当法人の在宅介護支援センターからのケースはケアマネージャーの人数が減っているため増やすことができない状況(特定事業所集中減算の都合)。

毎月の実績報告などでこまめに他事業所を訪問する(緊急事態宣言期間等は除く。)ことでつながりができており、新規利用者の紹介にもつながっている。ケースの依頼を受けていない事業所へも空き状況等をFAXなどで送っているが、

こちらについては効果が見られなかった。つながりを増やすために今後も続けていく。

(2) 報告事項・課題点等

○広報活動

- ・ Facebook 更新頻度が多くないこともあり閲覧数は横ばいである。
- ・ 広報誌の発行は今年度もできなかった。次年度検討とする。

○事故

- ・ 医療機関を受診した事故 1件
- ・ ヒヤリハット・医療機関受診を要しなかった事故等 6件
- ・ 前年度多く発生した送迎時の事故は0件
運転手会議等により定期的に注意点を再確認するようにしたことなどにより事故予防をできたと思われる。
- ・ 認知症利用者・動作能力が低下してきている利用者の介助方法等について再度研修をしていく必要がある。

○苦情・要望

- ・ 苦情 2件

○行事等

- ・ 新型コロナウイルスの影響により外出行事は実施せず、施設内行事のみとした。栄養課の協力を得て、企画食を多く実施。メニューのバリエーションも増え、好評を得ることができた。
- ・ 次年度は感染症の状況をみながら外出行事を検討していく。

○新型コロナウイルス感染予防対策

- ・ 備品の消毒等感染予防対策を実施。
- ・ 当センターにおける感染はなかったが、職員が家庭内濃厚接触のため長い期間自宅待機となることが複数回あり、職員負担が大きくなる時期があった。

○地域交流・ボランティア等受け入れ

- ・ 新型コロナウイルスの影響により今年度も外部ボランティアの受け入れ、地域行事への参加などは実施しなかった。
- ・ 次年度は感染症の状況をみながら検討していく。

○運営推進会議

- ・ 書面による活動報告等のみ実施

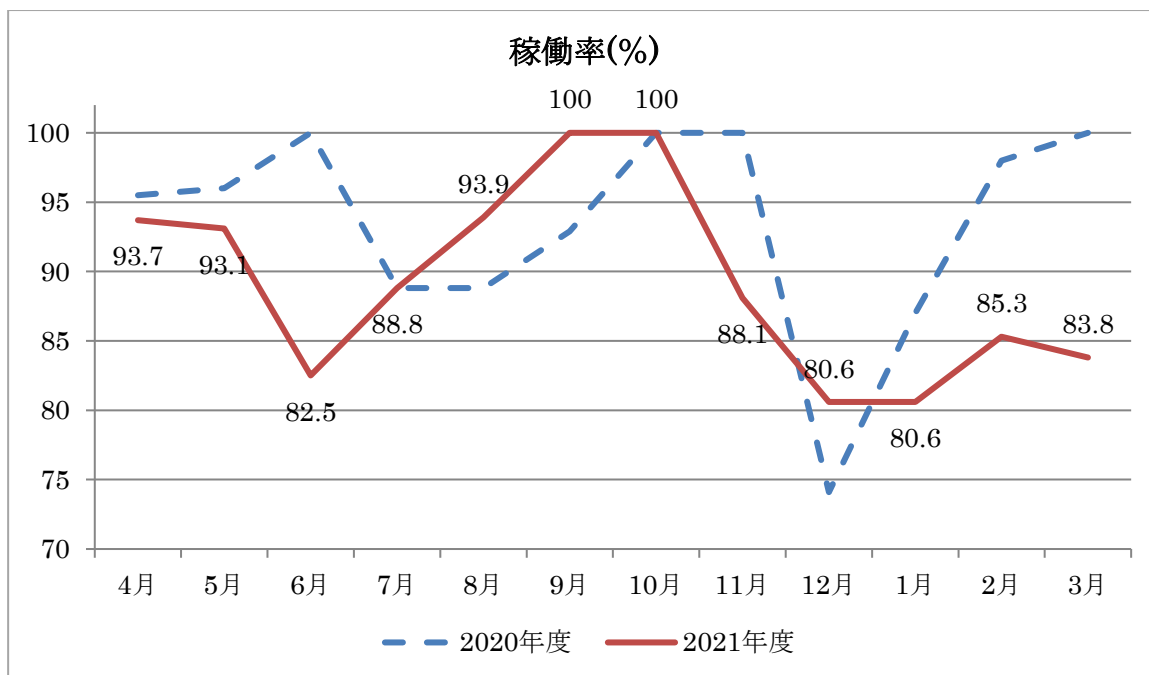
○実習生受入

- ・ 4名受入実施
- ・ ワクチン接種・健康チェック等感染予防を実施しての受け入れを行う。

5. グループホーム悠々やちよ 定員 9 名

(1) 稼働状況

年月	2021 年(令和 3 年)									2022 年(令和 4 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	253	260	223	248	262	270	279	238	225	225	215	234
100 % 時	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279



年間平均稼働率 89.23% 前年度比 -4.23% (前年度 93.46%)

- ・入居 5 名 退居 5 名 (前年度 入居 4 名 退居 4 名)
- ・平均要介護度 3.09 (前年度 3.71)

○稼働低下の要因

- ・年度終盤に新型コロナクラスターの為、約半数の入居者が 2 週間程度入院
- ・骨折・脳梗塞による長期入院
- ・退居者発生後、新規入居者の受け入れに時間がかかり 1 か月余りの空室が生じた。

○前年度に比べると減少したが、入居の問い合わせ等は年間で 19 件あり、定員数に対するニーズは依然として高い。

(2) 報告事項・課題点等

○入居者状況

- ・身体機能低下による重度化の為、3 名が特養へ異動(他 2 名は医療機関等へ)。

- ・新型コロナウイルス感染が施設内において発生し、5名の入居者が感染した。

○活動・レクリエーション等

- ・新型コロナウイルスの為、外部のボランティア等との交流によるレクリエーションなどは著しく制限せざるを得ない状況だったが、ホーム内で可能な活動に取り組むよう努め、季節感を持てたり、楽しみを感じられるような活動の機会を設けることができた。

○職員状況

- ・かろうじて必要出勤者数を確保できている状況であり、時間外勤務の常態化が生じている。
- ・高齢の非常勤職員には身体介護の提供業務が困難な場合も多く、常勤職員の負担が大きいことが継続している。
- ・新型コロナウイルスクラスター発生時には職員も5名が感染し、自宅待機者も生じるなど厳しい状況となった。

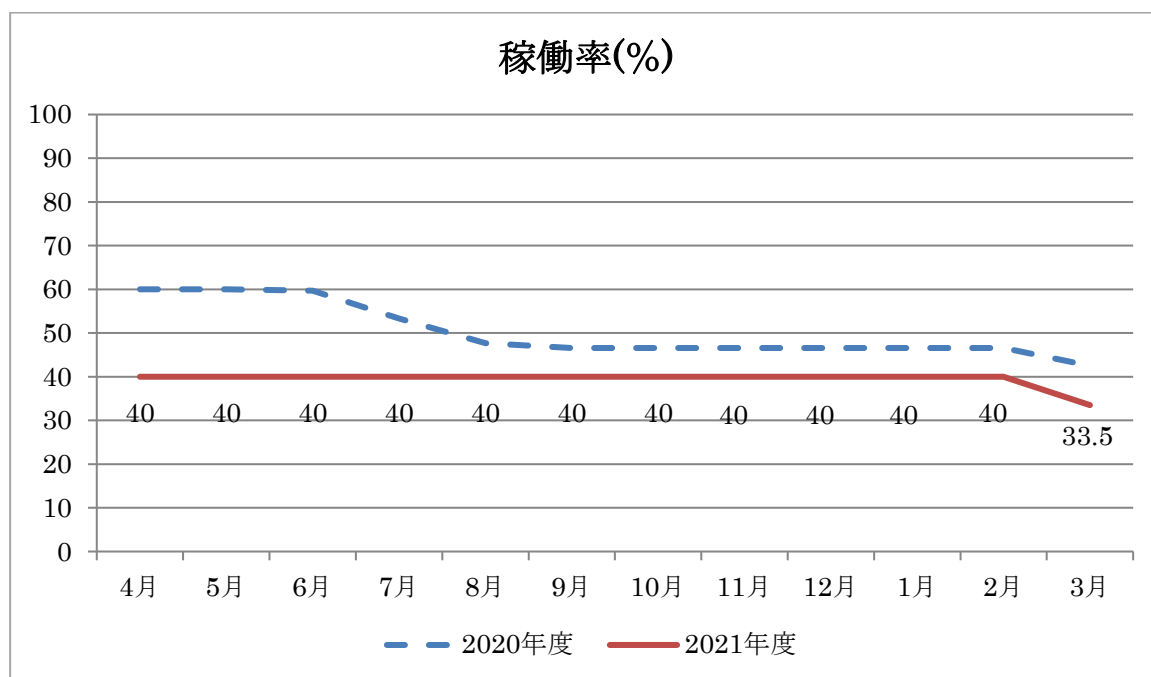
○その他報告事項

- ・運営推進会議については新型コロナウイルス蔓延防止の為、書面による実施のみ。
- ・職員研修についてはほぼ計画通り実施
(新型コロナウイルスクラスター発生時のみ休止)

6. ケアハウス青空

定員 15 名

(1) 稼働状況



年間平均稼働率 39.46% 前年度比 -10.82% (前年度 50.28%)

入所 0名 退所 1名 (前年度 入所 0名 退所 3名)

2022年3月末現在 入居者数 5名

- ・空室解消に向けて外部の施設紹介会社に当施設の紹介を依頼。
その他無料又は低料金の情報掲載媒体(ネット)などを利用。
年度末から入居に関する問い合わせが増えてきている。

(2) 報告事項・課題点等

○職員状況

- ・年度を通じて異動等なし
相談員 1名 介護職員 1名 調理職員 1名

○行事・レクリエーション等

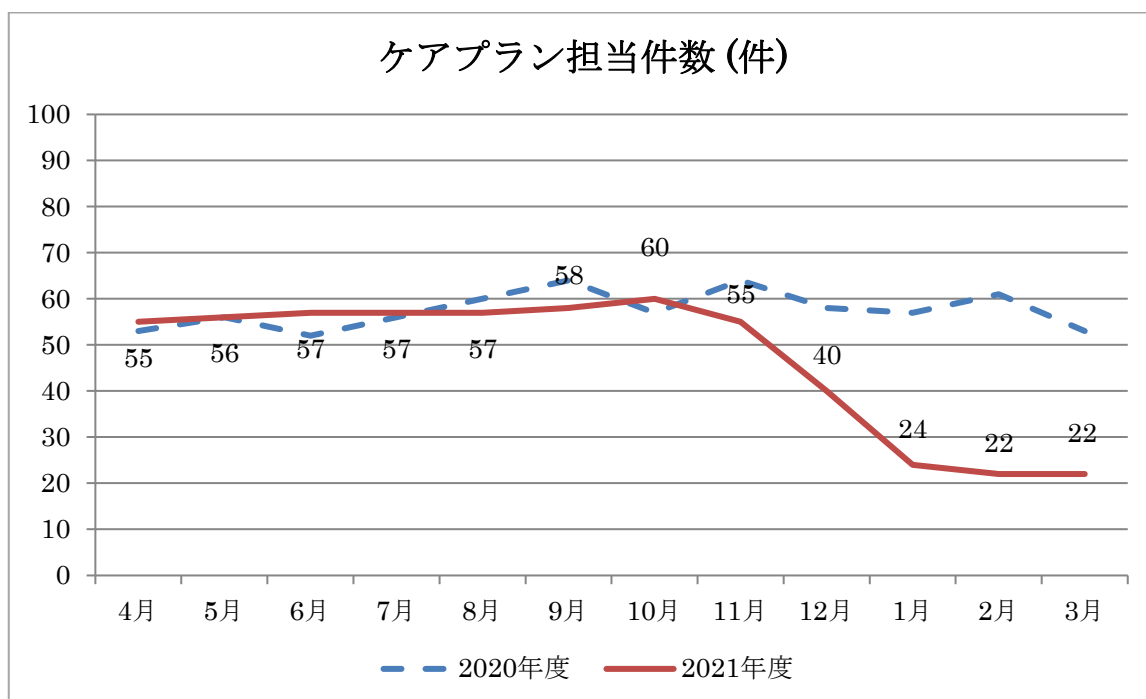
- ・外出行事は新型コロナウイルスの影響により実施せず。
- ・職員付添による買物については、新型コロナの流行状況や周辺ケアハウスの活動状況を確認しながら、回数を減らし実施。
- ・散歩やデイサービスの利用は年度を通じて実施。

○実施サービス等

- ・職員による通院送迎・付添実施
- ・職員・外部ヘルパーによる軽介護(居室内清掃・入浴時見守り等)
- ・外部ホームヘルパー利用者数 3名(年間実人数)
- ・デイサービス利用者数(当法人・外部) 3名(年間実人数)

7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城

(1) 稼働状況 (※国保連請求件数より)



- ・ 2021年4月 1日～2021年4月15日 ケアマネージャー3名体制
- 2021年4月16日～2022年1月31日 ケアマネージャー2名体制
- 2022年2月 1日～ ケアマネージャー1名体制

(2) 報告事項・課題点等

- 職員人数が減ることに伴い他事業所へ引き継ぎを行うケースがあったが、情報共有が不足しスムーズにいかないケースがあった。他事業所、関係サービス等との情報共有をより丁寧に行うように気を付ける必要がある。
- 年度末より職員1名体制となっている。1名の為、偏った考えなどに陥らないよう他事業所・併設事業所職員との連携に取り組んでいく。
- 主任介護支援専門員資格保有者が不在の為、次年度以降資格取得を進めていく。

8. 八千代台地域包括支援センター

(1) 総合相談支援業務

- 新規相談…730件
- 前年度は新型コロナウイルス緊急事態宣言期間等に相談件数の減少が見られたが、今年度についてはコロナ以前の平均的な件数だった。
- 主な相談者…民生委員、地域住民、郵便局、金融機関、医療機関
- 感染予防対策…来所・訪問等それぞれの場面に応じた最良の方法を協議し、実施

(2) 権利擁護事業

- 高齢者虐待通報件数…19件（前年度は23件）
対応延べ件数は前年度とほぼ同数
- 虐待行為が長期にわたり継続して見られ、養護者支援等を継続して行うケースも多い。
- 成年後見制度・消費者被害に関わる相談件数は増加。
コロナの影響で遠方の親族が来訪できない・身寄りがなく長期間閉じこもり傾向にあった等の相談が近隣住民を中心に寄せられることが多かった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- 圏域ケアマネージャーに対し研修内容に関する要望確認のアンケートを実施。結果、医療連携と災害対応に関する要望が多かった。
- 民生委員との合同研修にて独居高齢者の災害対応に関して事例検討を実施
- 地域医療関係者と医療連携に関する研修を予定するも、新型コロナウイルス蔓延の影響で開催できず。（次年度以降の課題）
- 八千代市地域ケア会議への参加 2回
- 八千代台圏域の介護支援専門員との勉強会 2回予定するも新型コロナウイルスの影響により1回のみ開催

(4) 認知症地域支援・ケア向上業務

- 認知症サポーター養成講座 開催数：3回 養成者数：24名
- 認知症サポーター養成講座以外の講座等 開催数：2回
- 認知症地域支援・ケア向上業務会議への参加 9回
- 認知症関連研修への参加 3回
- 認知症施策推進大綱のうちオレンジカフェを作る必要性の提案に地域住民から多くの賛同をいただき、立ち上げ準備の支援を始めた。（次年度へ継続）

(5) 生活支援コーディネーター業務

○新型コロナウイルスの影響により各活動で制限があった。

○第2層生活支援体制整備事業協議体 2回開催

○令和4年3月から移動スーパーが運航開始

(八千代市と株式会社カスミによる協定締結による)

場所等の選定に当たっては地域自治会等へ協力を要請した。その中でこれまで交流のなかった機関等との連携を図ることができた。

○長寿会連合会会長との顔合わせ・情報交換を実施

(6) 地域ケア会議推進業務

○地域ケア個別会議 実施回数1回

(予定回数未達成だが、関係者間での情報共有・ケース会議は適宜実施)

来年度は開催回数を増やし、課題の抽出や自立支援による重度化防止により努めたいと考える。

○八千代市地域ケア会議 参加回数2回

(7) 介護予防ケアマネジメント事業

○介護予防教室(介護予防普及啓発事業) 15回開催

(感染症対策を講じることで予定していた回数を実施)

○介護予防サロンへの協力回数 4回

○介護予防支援 ケアプラン作成件数 新規19件 再作成61件

委託事業者作成分 新規58件 再作成130件

○訪問件数 64件(実数)

特別養護老人ホーム八千代城

1. 従来型特養について

①延べ利用者数及び稼働率（介護報酬算定実施人数による。入院者・外泊者等除く。含む措置）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	1,744人	1,828人	1,794人	1,854人	1,952人	1,848人
稼働率	85.5%	86.7%	87.9%	87.9%	92.6%	90.6%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	1,824人	1,744人	1,821人	1,713人	1,574人	1,736人
稼働率	86.5%	85.5%	86.4%	81.3%	82.7%	82.4%

年間平均稼働率 86.3%

②年間死亡・長期入院による退所者数

	死亡者	長期入院者		死亡者	長期入院者
4月	0名	1名	10月	0名	1名
5月	0名	0名	11月	1名	1名
6月	0名	1名	12月	1名	1名
7月	1名	2名	1月	0名	0名
8月	1名	0名	2月	1名	1名
9月	0名	0名	3月	1名	3名

③年間延べ入院者数

4月	78名	10月	167名
5月	109名	11月	150名
6月	191名	12月	106名
7月	142名	1月	178名
8月	31名	2月	141名
9月	101名	3月	87名

年間延べ入院者数合計 1,481人 年間稼働率の約6%が入院

④事故・ヒヤリハット報告件数

4月	事故	11件	外傷・内出血：2件 転倒・転落：7件 盗食：2件
	ひやり	13件	内出血：13件
5月	事故	15件	外傷・内出血：5件 転倒・転落：9件 盗食：1件
	ひやり	6件	内出血：3件 転倒・転落：1件 寮母室へ侵入：2件
6月	事故	11件	外傷・内出血：2件 転倒・転落：5件 盗食：3件 誤薬：1件
	ひやり	6件	内出血：1件 転倒・転落：3件 もらい食べ：2件
7月	事故	10件	外傷・内出血：1件 転倒・転落：5件 異食：2件 利用者同士トラブル：1件 盗食：1件
	ひやり	12件	外傷・内出血：11件 薬の置忘れ：1件
8月	事故	18件	外傷・内出血：6件 転倒・転落：6件 異食：1件 盗食：4件 配膳間違い：1件
	ひやり	10件	内出血：10件
9月	事故	11件	外傷・内出血：3件 転倒・転落：6件 盗食：2件
	ひやり	6件	内出血：6件
10月	事故	11件	外傷・内出血：1件 転倒・転落：8件 誤薬：1件 盗食：1件
	ひやり	17件	内出血：14件 盗食：1件 危険走行：1件 浴槽で溺れ：1件
11月	事故	7件	外傷・内出血：1件 転倒・転落：5件 誤薬：1件
	ひやり	6件	外傷・内出血：4件 転倒・転落：2件
12月	事故	6件	外傷・内出血：3件 転倒・転落：2件 誤薬：1件
	ひやり	9件	内出血：9件
1月	事故	8件	外傷・内出血：3件 転倒・転落：5件
	ひやり	12件	内出血：8件 転倒・転落：2件 配膳間違い：1件 柵外し・危険走行：1件
2月	事故	6件	外傷・内出血：2件 転倒・転落：4件
	ひやり	2件	内出血：2件
3月	事故	3件	外傷・内出血：1件 転倒・転落：2件
	ひやり	16件	内出血：13件 転倒・転落：2件 自力頭部ギャッチアップ：1件
合計	事故	117件	
	ひやり	115件	

※医療機関受診を要した事故については行政機関(県・市)へ報告。

⑤會議開催報告

4月	<p>リーダー会議</p> <p>職員全体会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>	10月	<p>職員全体会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>
5月	<p>職員全体会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>	11月	<p>職員全体会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>
6月	<p>職員全体会議</p> <p>身体拘束適正化委員会会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>	12月	<p>職員全体会議</p> <p>身体拘束適正化委員会会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>
7月	<p>職員全体会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>	1月	<p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>
8月	<p>職員全体会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>	2月	<p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>
9月	<p>職員全体会議</p> <p>身体拘束適正化委員会会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>	3月	<p>職員全体会議</p> <p>身体拘束適正化委員会会議</p> <p>食事・事故・接遇委員会会議</p> <p>排泄・褥瘡・車椅子委員会会議</p> <p>入浴・環境・整容委員会会議</p> <p>衛生委員会会議</p>

⑥当施設のインフルエンザ・感染性胃腸炎・コロナウイルスの面会制限について

2021年1月16日～継続中	<ul style="list-style-type: none"> ・面会制限第三段階 面会、外出禁止 ・窓越し面会中止中 ・2021年6月9日よりリモート面会開始
----------------	--

- 入居者・職員のインフルエンザ、感染性胃腸炎、感染者ゼロ。
- コロナ陽性者発生はなかったが、疑いの利用者を数日間隔離対応とした
- 面会制限に関するクレームないが、直接会いたいとの希望は聞かれている

⑦年間リモート面会利用実施報告（2021年6月9日よりスタート）

4月	0件	10月	11件
5月	0件	11月	9件
6月	10件	12月	8件
7月	10件	1月	13件
8月	7件	2月	9件
9月	8件	3月	8件

計93件

⑧2021年度の指導監査について

新型コロナウイルスの影響で中止となる

⑨年間行事等実施報告

4月	お花見外出（チューリップ・佐倉ふるさと広場）・貼り絵
5月	4・5・6月生まれ誕生日会・利用者健診・貼り絵
6月	1回目コロナワクチン接種・2回目コロナワクチン接種・貼り絵
7月	7・8・9月生まれ誕生日会・2回目コロナワクチン接種・貼り絵
8月	貼り絵
9月	敬老会（行事食）・貼り絵
11月	10・11・12月生まれ誕生日会・インフルエンザ予防接種・貼り絵
12月	クリスマス会・焼き芋会・貼り絵
1月	新年顔合わせ（行事食）・消防訓練・貼り絵
2月	1・2・3月生まれ誕生日会・節分豆まき・貼り絵
3月	桜見散歩・3回目コロナワクチン接種・貼り絵

※2021年度のやきいも会も好評。さつまいもは寄付でいただく。

⑩各フロアー 2021年度反省

2 F	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響の為、外出が出来なかったが、先日駐車場の散歩が実施でき、数名だが外の空気を満喫することができた ・毎月貼り絵の作品を制作しており、気分転換になっている ・花や野菜を育てるについては実施できず、利用者様から声が上がっている為、実施していく ・ADL低下がみられる利用者様への声掛け、見守りは今後も継続して行う。又、3F担当と協力し居室の変更が必要な利用者様への対応の検討等、連携をもっとしっかりと行いたい
3 F	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの為、ドライブ外出を実施する事は出来なかったが、CD、DVD等を流し気分転換できるよう工夫した ・企画食等は実施できなかったが、行事食（お正月、敬老会）などの食事にて利用者様がとても喜んでくれていた ・季節のお花を育てることは実施できなかったが、来年度は実施したい ・行事ごとの壁画（貼り絵）参加は出来る方のみだったが、出来上がった作品を飾り、皆さんで楽しんでいただけた

⑪問題点等

- 勤務表作成は総括主任が担当。夜勤可能な職員が少ないため、夜勤の割り振りが困難な状況にある。早急に夜勤可能な職員の補充が必要。
- 入浴介護は派遣職員で対応しているが、目を離すと仕事がおろそかになっている場合がある。注意はしているが、改善が見られていない。
- 2F、3Fにフロアリーダーとサブリーダーを配置
- コロナの影響及び介護職員数が少ない時があり相談員が介護補助に入ることがある為、次期入所利用者の事前面接に遅れが生じている。
- 定期的に入所待機者の調整が必要
- 他施設と事前面接が重なることが多々ある。他施設も新規申込者からアプローチしている可能性が高く、利用者の取り合いのような状況になることがある。
- 現状の体制では胃瘻・インスリン注射使用者は受け入れが難しい状況にある。
- 職員配置に余裕がなく、手の込んだ企画行事の実施は困難。
- 職員研修の充実が必要
- 日曜・祝日を主として看護職員不在の日があり、利用者の状態悪化時等の対応に不安な時がある。
- 衛生委員会へ積極的に参加し、4S活動など意欲的に実施。実施した活動記録を提出。
(まとめたものを後日配布との事だったが、本報告作成時点では未配布)
- 身体的拘束実施者はゼロを継続している。

2. ショートステイについて

- ・2015年9月1日よりSSは休止が続いている。現在は空床利用のみの受け入れとなっている。職員補充が進んでおらず、再開の目処が立っていない。

ユニット型特別養護老人ホーム八千代城

①延べ入居者数及び稼働率（介護報酬算定実施人数による。入院者・外泊者等除く。含む措置）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	779人	831人	860人	899人	821人	768人
稼働率	57.7%	59.6%	63.7%	64.4%	58.9%	56.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	780人	739人	755人	720人	595人	603人
稼働率	55.9%	54.7%	54.1%	51.6%	47.2%	43.2%

年間平均稼働率 55.7%

②年間死亡・長期入院等による退所者数

	死亡者	長期入院者	その他		死亡者	長期入院者	その他
4月	0名	0名	0名	10月	1名	0名	0名
5月	0名	0名	0名	11月	1名	2名	0名
6月	0名	0名	0名	12月	0名	0名	0名
7月	0名	0名	0名	1月	1名	0名	0名
8月	0名	0名	1名	2月	0名	1名	0名
9月	1名	0名	0名	3月	0名	1名	1名

③年間延べ入院者数

4月	91名	10月	52名
5月	68名	11月	69名
6月	10名	12月	20名
7月	1名	1月	53名
8月	34名	2月	83名
9月	58名	3月	125名

④事故・ヒヤリハット報告件数

4月	事故	1件	外傷：1件
	ひやり	0件	
5月	事故	3件	転倒・転落：2件 服薬確認ミス：1件
	ひやり	0件	
6月	事故	2件	転倒・転落：2件
	ひやり	0件	
7月	事故	6件	転倒・転落：2件 外傷：2件 服薬確認ミス：2件
	ひやり	1件	転倒・転落：1件
8月	事故	2件	転倒・転落：1件 外傷：1件
	ひやり	0件	
9月	事故	3件	外傷：2件 服薬確認ミス：1件
	ひやり	1件	転倒・転落：1件
10月	事故	2件	転倒・転落：2件
	ひやり	1件	転倒・転落：1件
11月	事故	3件	転倒・転落：3件
	ひやり	4件	異食：3件 共同スペーステレビ引っ繰り返す：1件
12月	事故	5件	転倒・転落：3件 外傷：1件 浴後意識消失：1件
	ひやり	2件	異食：1件 転倒・転落：1件
1月	事故	2件	転倒・転落：1件 爪切り受傷：1件
	ひやり	1件	異食：1件
2月	事故	4件	転倒・転落：3件 服薬確認ミス：1件
	ひやり	0件	
3月	事故	4件	転倒・転落：2件 誤薬：1件 服薬確認ミス：1件
	ひやり	0件	
合計	事故	37件	
	ひやり	10件	

※医療機関受診を要した事故については行政機関(県・市)へ報告

⑤会議開催報告

4月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会	10月	ユニットリーダー会議 3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会
5月	褥瘡予防対策委員会会議 3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 衛生委員会	11月	4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会
6月	4 Fフロア会議 身体拘束適正化委員会会議 事故対策委員会会議 衛生委員会 褥瘡予防対策委員会会議	12月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 身体拘束適正化委員会会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会
7月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会	1月	4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会
8月	4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会	2月	3 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会
9月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 身体拘束適正化委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 衛生委員会	3月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 褥瘡予防対策委員会会議 身体拘束適正化委員会会議 事故対策委員会会議 衛生委員会

⑥当施設のインフルエンザ・感染性胃腸炎・コロナウイルスの面会制限について

2021年1月16日～継続中	<ul style="list-style-type: none"> ・面会制限第三段階 面会、外出禁止 ・窓越し面会中止中 ・2021年7月21日よりリモート面会開始
----------------	---

○入居者・職員のインフルエンザ、感染性胃腸炎、感染者ゼロ。

○2022年2月12日入居者にコロナ陽性者発生。計7名が感染。3名が入院。職員2名も陽性者が出る。ゾーニングで対応。2022年3月14日通常体制に戻る

○面会制限に関するクレームないが、直接会いたいとの希望は聞かれている

⑦年間リモート面会利用実施報告（2021年7月21日よりスタート）

4月	0件	10月	5件
5月	0件	11月	3件
6月	0件	12月	5件
7月	2件	1月	4件
8月	8件	2月	2件
9月	3件	3月	2件

計34件

⑧2021年度の指導監査について

新型コロナウイルスの影響で中止となる

⑨年間行事等実施報告

6月	入居者健診・1回目コロナワクチン接種・消防訓練
7月	入居者健診・消防訓練・1回目コロナワクチン接種・2回目コロナワクチン接種
8月	2回目コロナワクチン接種
9月	敬老会・100歳利用者お祝い(市役所職員来苑)
11月	インフルエンザ予防接種
12月	やきいも会
1月	新年顔合わせ・消防訓練
2月	節分豆まき
3月	桜鑑賞・消防訓練・3回目コロナワクチン接種

※やきいも会は好評。さつまいもは寄付でいただく。

※コロナの影響により外出行事、季節行事の企画が困難であった

⑩各フロア2021年度反省

3F	<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居様の急変時の対応にまごついてしまうことがあった ・報告・連絡・相談について、ノートへの記入忘れや、スタッフが少なく業務に追われている時など他のセクションへの伝達が遅れてしまうことがあった。 ・記入漏れが起きない様、きちんとメモを取る等し注意をしていきたい ・報告書や連絡ノート等、他に伝わりやすい要領を得た文章にしたい ・ご入居様に満足いただける様、業務に対応していきたい
4F	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員としてご利用者様に対し穏やかに声掛けや接し方が上手くできていなかった事があった ・職員間で、報告・連絡・相談が徹底されておらず、目標とすることが出来ていなかった ・ご利用者様に対しても、一緒に働く職員に対しても、時々、目にあまる乱暴な言葉使いをする職員がいる。お互い職場での態度に気をつけたい ・目標に近づく為の自身の技術、その他の事が出来ていなかった

⑪問題点等

- 2020年2月から職員数不足により2Fフロアを閉鎖継続中
- 閉鎖中の2F一般浴等の機器類が定期運転しないと、ヒューズが切れてしまう等の不具合が生じる為、定期運転を実施している。(故障すると多額の修理費用が生じる。)
- 2022年1月異動の為、担当ケアマネージャーが交代する。
- 特浴は全面的にケアマネージャーが担当する状況が続いている。
- コロナの影響もあり、外出や行事の企画を立てることができなかった。
- 身体的拘束ゼロを継続中
- 褥瘡のハイリスク者が増加傾向にある。
- 夜勤が出来る職員が少なく、夜勤が出来る職員は、夜勤専属のような形になってしまっている。
- コロナ陽性者が出たことで空床を埋めることに遅れが生じた。早急に3F・4Fの満床を目指す必要がある
- 従来型に比べ、女性利用者の申し込みが少ない状況にある。
- 当施設は入所予定者の診断書を提出していただいてから契約することとしているが、診断書の提出なしで入所が出来る特養があり、同時期に事前面接となると、そちらに先に取りられてしまう傾向がある。
- 入居者本人は望んでいないが、ユニット型では利用料の支払いが厳しく、従来型に移りたいと希望する家族が出てきている。今年度は1名が当該理由で、従来型へ移動している。
- 事故について ご家族に事故について説明・謝罪を行うも、納得いただけず退所となってしまったケースがあった。
- 職員研修、委員会の充実を図っていく必要がある。

八千代城デイサービスセンター

◎デイサービス統計（別紙あり）

延べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	年間稼働率	平均介護度
4468名	309日	14.5名	80.3%	2
利用者件数（R4.3月現在）		事故件数	苦情件数	新規件数
29件		1件	3件	11名
ヒヤリハット				
6件				

- ・今年度は、昨年度に比べて、延べ利用者数、稼働率、1日平均利用者数は、微増する。4～8月まで、昨年度よりも稼働が伸びなかった。
- ・新規受け入れ利用者は、11名であり、昨年度よりも減少している。4～8月は、9件で定期的に受け入れが出来ていたが、9～3月は、3件であった。デイサービス見学者数は、5件対応するがそのうち利用した人数は、2件であった。他事業所で断られたケースの依頼を受ける事が増えてきており、受け入れいけるよう体制づくりを行う必要がある。

長年八千代城デイサービスセンターを利用してくれた利用者の永眠、長期入院、施設入所等で、利用廃止となった利用者数は、9件であった。

- ・現在（R4.3月まで）の受け入れ状況は、下記の通りである。
 在宅介護支援センター八千代城受け入れ件数⇒16件 昨年度よりも減少
 他事業所（要支援者含む）受け入れ件数⇒20件 昨年度よりも増加
 在宅介護支援センター八千代城からの受け入れ件数に関しては、昨年度より減少。ケアマネが二人体制となり、特定事業所集中減算の為、新規の利用者の受け入れや今以上の件数の増加は見込めず。また、令和4年2月より、ケアマネが一人体制となる為、次年度も新規利用者の受け入れ数が見込めない。
 他事業所件数は、20件であり増加する。実績配りで定期的に顔を合わせがケアマネと出来ており、新規利用者の確保も出来ている。特に、他事業所のケースとして、老々介護の世帯、一人暮らしの高齢者世帯の依頼が多くみられている。
- ・他事業所へ実績配りやデイサービスの空き状況等の外回りは、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の以外は来訪し、ケアマネと顔合わせるをしている。また、2ヶ月ごとにケース受入のない事業所へFAXをしているが効果は出ていない。引き続き、他事業所の外回りと定期的なパンフレット・空き状況等資料を配布していく。以前に問い合わせがあった事業所への営業も行い、新規利用者を増やしていくよう努める。

- ・ F a c e b o o k は、1 ヶ月に1回更新をしている。更新はしているが、リサーチ数が、横ばいである。悠久会八千代城も、新たに F a c e b o o k を始めた為まとめて更新をしていった方が、八千代城を紹介していく上で、よりよい効果があるのではないかと、また、特養に入所している家族からもメッセージが届いているので、次年度、Facebook の内容を検討する。
- ・ 2018 年秋より、デイサービスの新聞を作成しているが、今年度も、発行することができず。印刷方法、新聞のサイズ、内容を変更し発行していく事を、次年度は検討し年1回発行するようにしていく。
- ・ 事故に関しては、今年度は、1 件であった。認知症の利用者を入浴前に車椅子から長椅子に座らせるが、職員が目を離した隙に、左側に倒き床に転落してしまう。左側の身体を床に打ちつけ胸の痛みの訴えが見られた為、病院受診をする。左肋骨骨折。保存療法となる。痛み止め、湿布処方。八千代市長寿支援課に報告。家族(夫・長女)、ケアマネに、状況を報告し謝罪をする。座位保持が不安定な利用者に対して、その場から離れる時は、職員間で声かけをし、付き添える職員を確認してから行動をすることが必要であった。利用者の身体状態が不安定な時は、情報共有と利用者の安全を確認しながら状況に応じた介助を行い、事故が発生しないように対応する。昨年度は、送迎中に事故件数が多く発生するが、今年度は0 件であった。引き続き運転手会議を半年に1 回行い、業務の確認をしていく。
- ・ ヒヤリハット及び医療機関受診を要しなかった事故は、6 件あり。
 - 1 件目：他の利用者の歩行車を認知症の利用者が歩行車を持ち一緒に歩こうとした為、職員が危険を感じ仲介に入るが、認知症の利用者が不穏となり走り始めようとした時に足がもつれ転倒する。痛みの訴えもなく、すぐに歩行をする。家族に連絡し謝罪する。その後も特に問題なく。認知症の利用者に声かけし対応する必要があった。
 - 2 件目：集団リハビリ体操中に、ゴルフボールを床に置き足の裏をマッサージしていたが、ゴルフボールがずれてしまい、足を伸ばしボールを取ろうとした際に椅子より滑り落ちてしまう。痛みもなく家族へ報告と謝罪をする。その後も特に問題なく。職員の見守りと利用者の運動の様子を観察する。
 - 3 件目：認知症のある利用者が、レクリエーション活動中に椅子から立ち上がろうとした際にバランス崩し右膝をつく体勢をなる。右膝の痛みはないが、発赤と熱感が見られた為、クーリングする。ケアハウス職員へ報告し謝罪をする。その後も特に問題なく。認知症のある利用者へ立ち上がった際に声かけをする必要があった。

- 4 件目：入浴中、浴槽から立ち上がる際に足の踏ん張りが効かず、手すりにつかま
ったまま足が滑ってしまい浴槽の一段目の階段に左肩甲背側部がすれてし
まう。痛みはないが発赤 2~3 本の線になる。家族へ連絡し謝罪をする。立
ち上がる体勢が出来ているか確認したり、歩行が不安定なのでシャワーチ
ェアーを使用する必要があった。
- 5 件目：10 時に服薬であったが、忘れてしまい時間がずれてしまった。家族へ連絡
し謝罪をする。職員間で再度、確認していく。
- 6 件目：お昼休みソファに座っていたが、急に動きたくなくなったようでソファか
ら滑るようにずり落ち尻もちをついてしまう。右手第一指に内出血痕あり。
熱感や腫れはなく。その後は、特に問題なく。家族へ連絡し謝罪をする。
利用者の行動に見守りをする。

認知症のある利用者に対しての危険予測や日常生活動作の能力が低下してきている
利用者に対しての介助方法について、研修していく必要がある。

・苦情に関しては、2 件あり。

- 1 件目：団地 3 階に住んでいる利用者の乗車待ちの際に、送迎車の後ろに軽自動車
が止まる。送迎車両が出発しないので、軽自動車の運転手より「停車して
いる車両をもう少し前に出して欲しい。」と話をされる。停車している送迎
車両の横に駐車スペースがあった。軽自動車の運転手へ謝罪する。運転手
が止まっている車に対して一言声かけをする必要があった。
- 2 件目：利用者家族より、利用料の徴収について苦情あり。家族へ謝罪し利用料の
確認をして対応していく。

苦情について、定期的な研修が必要である。

◎令和3年度 年間行事・外出報告

4月	お花見スライドショー	10月	お取り寄せスイーツ
5月	買物代行サービス	11月	八千代城ハワイアンセンター
6月	お取り寄せスイーツ	12月	クリスマス会
7月	ビンゴゲーム大会	R4. 1月	飯綱神社代行参りと双六ゲーム
8月	運動会	2月	洋食ビュッフェ
9月	敬老会	3月	買物代行サービス

- ・今年度も、新型コロナウイルスの影響にて、外出行事を中止し、施設内行事へ変更して対応をする。その為、企画食を提供することが多くなり、栄養士、厨房職員の協力より、色彩豊かなそれぞれの企画にあった食事を提供することができた。昨年に比べ食事メニューのバリエーションが豊富になった。
- ・施設内行事：お取り寄せスイーツは、施設近くにあるセブンイレブンで行っていたがミニストップにも協力をしてもらい、約6～9種類の中から利用者の好きな物を選ぶ企画をする。好きな物を食べる事が出来て、利用者は喜んでいて。次年度は、ローソンにも協力依頼しを地域との交流をしていく。久しぶりの企画で、洋食ビュッフェを行う。ビュッフェの種類が豊富で、色とりどりのメニューで食べやすい量であり、利用者も喜んでいて。普段、少食の利用者も、多く食べていた。敬老会やクリスマス会は、余興をボランティアに依頼することもできず、職員が余興を行う。次年度は、ボランティア余興を楽しめるよう対応を検討する。
- ・外出行事：今年度も、実施する事が出来ず。初詣も、昨年に続き代行で行う。利用者から、買物外出の希望が多く、今年度は、職員代行を行う。初めての試みで5月は、参加人数が2名であったが、3月には、8名になった。次年度は、新型コロナの状況を見ながら、買物外出が出来るよう検討する。

【新型コロナウイルス感染予防対策】

(ダイルーム内)

- ・利用者のマスク着用
- ・アクリルパネルの設置
- ・ダイルーム内に入る前に、手指消毒を設置
- ・利用者帰苑後、テーブル、椅子、アクリルパネルの消毒

(送迎車)

- ・業務終了後、手すり等にハイター消毒と座席シートの消毒
- ・新型コロナウイルスに感染した利用者はいなかった。次年度も、感染予防対策を引き続き行っていく。
- ・職員の同居している家族がコロナに感染し、濃厚接触者で出勤できない期間が1月末から3月中旬まで続いたが、サービスへの影響はなく対応することができた。

◎地域交流とボランティア

- ・今年度も、新型コロナウイルスの影響があり、阿蘇北部支会と定期的なボランティアの受け入れが出来なかった。地域交流に関しても、阿蘇北部支会の活動や阿蘇ふれあいまつりへの参加が出来なかった。次年度も、新型コロナウイルスの状況を見ながら対応を検討していく。

◎運営推進会議

新型コロナウイルス感染予防の為、今年度も、運営推進会議を開催せず。

阿蘇包括職員・保品地区民生委員、介護相談員へ手紙を配布し、利用状況と活動状況を報告する。

令和3年8月25日：利用状況と活動状況を報告

令和4年3月29日：利用状況と活動状況を報告

◎介護等体験実習大学生（令和3年9月27日～11月19日）

- ・受け入れ学生総数：4名 延べ体験日数：20日
- ・新型コロナウイルス感染予防して、実習生には、ワクチン接種の確認と実習期間開始2週間前から、症状チェック表の記載をしてもらい受け入れを行っている。実習中もマスク着用、手指消毒も行っている。
- ・次年度も、実習生を受け入れて、定期的な収入を確保する。

令和3年度 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	16	17	14	13	/	14	13	16	13	/	16	14
2	16	/	13	12	16	14	16	15	12	/	15	16
3	17	17	14	16	15	13	/	13	15	/	11	13
4	/	15	13	/	14	15	17	11	16	16	14	14
5	18	14	17	17	15	/	15	15	/	17	16	15
6	17	17	/	15	11	16	15	15	16	13	/	/
7	17	16	14	13	14	16	15	/	14	0	15	16
8	15	16	15	13	/	14	13	16	14	17	15	13
9	16	/	14	14	16	14	16	16	11	/	13	13
10	18	17	12	15	13	13	/	13	14	15	12	13
11	/	14	13	/	15	17	16	14	16	14	0	14
12	17	13	15	16	13	/	14	15	/	12	13	14
13	17	15	/	14	11	16	14	15	15	14	/	/
14	15	16	13	13	14	16	14	/	16	13	16	16
15	16	17	13	15	/	14	13	17	13	16	15	14
16	17	/	14	14	17	15	15	13	13	/	14	14
17	18	17	13	16	15	13	/	13	14	17	13	13
18	/	13	12	/	14	16	16	13	16	15	14	14
19	18	15	14	16	16	/	14	14	/	13	14	15
20	17	12	/	14	14	15	14	14	17	13	/	/
21	16	12	15	13	15	16	14	/	16	12	14	14
22	16	16	15	12	/	13	12	17	13	13	14	13
23	17	/	13	14	18	14	15	15	14	/	14	13
24	17	15	13	16	15	13	/	14	15	14	13	10
25	/	14	14	/	15	14	16	14	16	15	16	14
26	15	15	17	17	14	/	14	14	/	14	14	13
27	17	12	/	14	15	15	14	14	17	12	/	/
28	15	12	12	14	16	15	11	/	16	13	16	15
29	15	14	14	13	/	13	14	15	15	13	/	13
30	16	/	14	14	17	15	16	15	/	/	/	12
31	/	15	/	16	15	/	/	/	/	15	/	12
合計	429	386	360	389	383	379	376	376	367	326	327	370
平均	16.58	14.85	13.85	14.41	14.73	14.58	14.46	14.46	14.68	13.58	13.63	13.7
最大値	18	17	17	17	18	17	17	17	17	17	16	16
最小値	15	12	12	12	11	13	11	11	11	0	0	10
営業日数	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27
実可動人数	32	30	27	28	31	27	30	28	29	29	29	29
稼働率	91.7%	82.5%	76.9%	80.0%	81.8%	81.0%	80.3%	80.3%	81.6%	75.5%	75.7%	76.1%
平均介護度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

年間合計人数
4468
年間1日平均人数
14.5

年間平均稼働率
80.3%

営業日数
309

平均介護度(要支援も含む)
2

グループホーム悠々やちよ

1. 稼働と介護報酬の状況

稼働

稼働目標 95%。稼働実績 89.3%

介護報酬

目標金額 30,230,000 円 実績金額 41,016,757 円

達成率 135.7%

目標達成に至らなかった理由

- ①新型コロナウイルスクラスター感染で半数の入居者が同時に 2 週間入院したため。
- ②骨折、脳梗塞による長期入院のため。
- ③退居後のリハビリに時間がかかり 1 か月余りの空室が生じたため

2. 入居申し込み等の状況

9 名の申込に対し 5 名の入居契約。相談・問い合わせは 19 件ありニーズはあるが昨年に比べると問い合わせは減少している。

3. 利用者の状態

退居者 5 名（入院 1 名、八千代城入所 2 名、他施設入所 2 名）

新規入所 5 名

身体機能の低下による重度化した入居者 2 名が八千代城へ異動。自宅最寄りの特養への異動が 1 名。リハビリのニーズ対応のため老健入所が 1 名。脳梗塞による入院のため 1 名が退居した。令和 4 年 1 月中旬から下旬に新型コロナウイルスクラスター感染となり入居者 5 名職員 5 名が感染した。

新型コロナウイルス感染対策の為、外出及び部外者、地域との交流を著しく制限せざるを得なかったが、ドライブやおやつ作りなど可能な限りアクティビティの機会を設け季節感に富み笑顔あふれる環境で過ごしてもらうことができた。ご家族とは地域の感染状況に応じ柔軟な対応を行った。

4. 職員の状況

職員数は常勤介護職員 5 名、非常勤介護職員 3 名と裁員して必要な出勤数を維持できているが、早番、遅番の位置づけができず、時間外勤務が状態化しており常勤職員が有休を取ることが難しい状態が続いている。9 名の入居者に対し日勤者 2 名で対応せざるを得ないことや高齢の非常勤介護職員が身体介護が困難であるため常勤職員に負担がかかり過ぎていることも続いている。

5. 運営推進会議(2カ月に1回開催：義務)

新型コロナウイルスまん延防止の為、ホームでの会議開催は見送り全て書面での会議とした。

6. 八千代市実地指導

八千代市実地指導はなし。

7. 外部評価

運営推進委員による外部評価を行った。

(令和4年3月23日長寿支援課へ提出)

8. 実習生受入

社会福祉士養成 1名

9. 働き方改革等

働く者の心と体の健康が守られることで入居者に良質なサービス提供が提供でき安定した雇用を維持できるような「魅力ある職場づくり」を目指した活動行い、ハラスメント、交通安全、受動喫煙の問題など様々なテーマに取り組みを継続している。

10. 職員研修

事業計画に基づき1回/1か月研修を行った。

4月 身体拘束廃止、不適切ケア防止について

5月 記録について

6月 口腔ケアについて(外部講師・リモート)

7月 薬について(外部講師)

8月 認知症の周辺症状について

9月 排泄ケアについて(外部講師・リモート)

10月 認知症について

11月 業務マニュアルの見直しについて

12月 ”見守り”という支援について

1月 急変時の対応について(新型コロナクラスター発生の為休止)

2月 権利擁護について(クラスター発生後の対応の為、資料配布のみ)

3月 非常災害について(人員不足のため、資料配布のみ)

ケアハウス青空

- ◎ 令和3年度の年間平均稼働率は、39・4%台でした。
受け入れ可能な入居者ケースに対して急募検討対応していきます。

令和3年度 月別稼働率

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

令和3年／4月 ⇒ 40%	令和 3年／10月 ⇒ 40%
令和3年／5月 ⇒ 40%	令和 3年／11月 ⇒ 40%
令和3年／6月 ⇒ 40%	令和 3年／12月 ⇒ 40%
令和3年／7月 ⇒ 40%	令和 4年／ 1月 ⇒ 40%
令和3年／8月 ⇒ 40%	令和 4年／ 2月 ⇒ 40%
令和3年／9月 ⇒ 40%	令和 4年／ 3月 ⇒ 33.3%

- ◎ レクリエーション及びクラブ活動について

実施内容

- ・ 天気の良い日の散歩の実施
- ・ デイサービス利用
- ・ 当施設内で実施しているクラブ活動（工作）（月に1回程度）
特に工作クラブでは壁面紙工作等に力を入れて活動しています。

- ◎ 令和3年度は空き部屋解消に向けて、外部の施設紹介会社に当施設の紹介を依頼しました。令和4年3月からはインターネット広告にも当施設の情報及び空室情報を掲載し、入居者を募るようにしています。

- ◎ 令和3年度も業務上支障がない場合に限り、病院受診送迎サービスを実施しました。利用者の方々から普段の定期受診以外に他の曜日の診療科やリハビリ等の利用回数が多少増えたので大変便利になり助かるとの評価をいただいております。

※日中限定10：00～17：00

- ◎ 利用者の中で家事援助・軽介護が必要な方へのサービスを当施設スタッフ・外部の在宅サービス提供機関（ホームヘルパーサービス等）及び利用者家族と連携を図りながら、利用希望者本人、本人のADL、本人の要介護に応じた必要な介護サービスをケアハウス内で提供できるよう努めます。当施設での快適な生活を送ることができるように支援を今後も継続的にしていきたいと考えています。

- ・ ホームヘルパー利用者数 3名（年間実人数）
- ・ デイサービス利用者数
月曜日：0名 火曜日：1名 水曜日：0名 木曜日：1名
金曜日：0名 土曜日：0名

八千代市在宅介護支援センター八千代城

◎受け入れ件数（総合事業含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
55件	56件	57件	57件	57件	58件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
60件	55件	40件	24件	22件	22件

- ① ご利用者様への対応は、親切・丁寧・迅速かつ分かりやすく説明し対応する事ができた。他事業所への引き継ぎの際、サービス事業所への情報共有が不足、説明不足であった。引き継ぎの際は、関わっている事業所等へ情報共有が確実に出来るように対応していく。
- ② 地域包括支援センターとの連携に努め、対応困難ケース等の受け入れを行い、地域包括支援センターや他職種との連携により、職員の学びや資質向上につながる事ができた。
- ③ 主任介護支援専門員を取得できず、次年度は取得し体制を整える。
二人体制であったが、令和4年2月より一人体制となる。
人員確保できず。一人での偏った考えにならないように、多職種との連携をしながら業務を行っていく。

*令和4年度は、事業所としての目標に向けて努力し、着実なケアマネジメントを行い安定した経営が保てるように努めます。

八千代台地域包括支援センター

- ①総合相談業務
- ②権利擁護業務
- ③包括的・継続的ケアマネジメント業務
- ④認知症地域支援・ケア向上業務
- ⑤生活支援コーディネーター業務
- ⑥地域ケア会議推進業務
- ⑦介護予防普及啓発業務
- ⑧介護予防ケアマネジメント業務及び指定介護予防支援

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 総合相談支援業務

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【1】 悩みや生活上の課題を抱える高齢者や高齢者を取り巻く関係者(地域住民等)が共に助け合い活動ができるように、他機関と連携し課題が解決できる。	【1-1】 地域住民等が地域包括支援センターの機能について知ることができる。	【1-1-1】 地域住民等へ総合相談窓口としての八千代台地域包括支援センターの広報を行う。 ①市民向け講座を実施し、広報を行う。(いきいき教室、認知症サポーター養成講座、その他の講座等) ②地域包括支援センターのリーフレット及び認知症に関するパンフレットを市民に説明し配布する。また、圏域の関係機関へ設置を依頼する。(医療機関、介護サービス事業所、企業、商店等への設置依頼)。 ③住民団体や医療機関等との関係づくりや同団体等への広報を行う。(民生委員地区定例会、支会、他機関等の会議出席。地域行事・活動の参加)	【1-1-1】 ①適宜実施する。 ②適宜配布、設置を依頼する。 ③適宜実施する。	【1-1-1】 ◎総合相談支援業務実績参照 ◎包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照 ◎講座開催数⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照 ◎設置依頼の実績⇒地域の金融機関・医療機関・薬局等に設置。 ◎会議等への出席数⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照
	【1-2】 相談に来られない(来ない)地域住民について周囲の人が相談を行える。	【1-2】 市民や関係者に対し、高齢者に関する情報提供を促す。 ①八千代台地域包括支援センターの広報を行う。 ②住民団体や医療機関等との関係づくりや同団体等への広報を行う。(民生委員地区定例会、支会、他機関等の会議出席。※訪問・電話による相談を行っていることをPRする)	【1-2】 ①適宜実施。 ②適宜実施。	【1-2】 ◎総合相談支援業務実績参照 ◎包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照 ◎他機関との連携回数(相談業務実績)⇒総合相談支援業務実績及び包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照
	【1-3】 認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる。	【1-3-1】 認知症に関する知識を周知すると共に、支援体制を構築していく。 ①圏域の住民向けに認知症サポーター養成講座を開催する。 ②職員全員が認知症について正しい知識を持ち、分かりやすく説明ができる。	【1-3-1】 ①それぞれ年度内に1回以上。 ②適宜。	【1-3-1】 ◎講座開催件数⇒年3回(支会・商店・金融機関 各1回) ◎認知症に関する相談件数⇒総合相談支援業務実績参照

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 総合相談支援業務

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【2】 高齢者や高齢者を取り巻く関係者(地域住民等)の悩みや生活上の課題を解決し、地域共生社会の実現を図る。	【2-1】 高齢者や地域住民等が総合的な相談を行える。また、包括的支援事業に関して専門的な支援を受けられる。	【2-1-1】 職員の技能や専門性を向上させる。 ①勉強会や研修に参加する。(高齢者関係、障害関係、児童福祉関係、福祉・生活困窮関係等) ②各業務別会議へ参加し、情報交換や相談を行う。また、その結果を所内に周知する。	【2-1-1】 ①権利擁護、介護予防、包括的継続的ケアマネジメントに関する研修計画に沿って参加。その他の研修会は適宜。 ②会議ごとに適宜。	【2-1-1】 ①研修参加数・他職員への周知⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照 ②会議出席数・他職員への周知⇒新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催や中止があったが、適宜会議に参加し他職員へ周知した。
		【2-1-2】 専門機関と連携して支援を行う。また、その体制づくりを行う。 ①住民団体や医療機関等に対する関係づくりを行う。(民生委員地区定例会、支会、他機関の会議等の出席) ②行政、医療機関、認知症初期集中支援チーム、介護サービス事業所、その他機関との連携	【2-1-2】 ①適宜。 ②適宜。	【2-1-2】 ◎総合相談支援業務実績参照 ◎包括的継続的ケアマネジメント支援業務実績参照 ◎他機関との連絡相談回数、会議等参加数⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照
		【2-1-3】 センター内の多職種が連携し、社会資源の活用をし高齢者の課題解決を支援する。	【2-1-3】 ①ミーティング及び適宜開催するカンファレンスにて支援方針を検討する。 ②ミーティング及び適宜開催するカンファレンスにて支援経過を所内で共有し支援を終結について検討する。その根拠を記録する。	【2-1-3】 ◎ミーティング記録及び経過観察票参照 ◎経過観察票及び相談支援台帳参照

【実施結果】

733件の新規相談があった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言期間は相談件数の減少が見られたが、令和3年度については毎月平均的な相談件数であった。感染予防対策については、来所・訪問等それぞれの場面に応じた最良の方法をセンター内で協議した。相談者は民生委員をはじめ地域住民、郵便局、金融機関、医療機関からが増加した。

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 権利擁護事業

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【1】 高齢者が虐待を受けずに生活することが出来る。高齢者の家族が虐待をせずに介護が出来る。	【1-1】 【重点目標】 高齢者が虐待にあっても、本人が早期に相談出来る。周囲の人が早期に発見して通報できる。	【1-1】 ①各地域団体の会議に参加し、地域包括支援センターが高齢者虐待の相談窓口であることを伝え、高齢者虐待についての相談や通報を促す。 ②介護サービス事業所等に対して高齢者虐待防止のチラシを作成・配布して普及啓発活動を行う。	【1-1】 ①民生委員地区定例会・支会への参加：随時。 ②介護サービス事業所等（必要に応じて随時）：年2回。	【1-1】 ◎通報件数⇒総合相談支援業務実績参照 ◎通報経路⇒虐待報告書参照 ◎地域住民や介護サービス事業所からの相談件数虐待報告書参照
	【1-2】 高齢者が虐待に遭わない。	【1-2】 高齢者本人及び家族、地域住民などが、高齢者の介護、健康などの不安や悩みを気軽に相談できるように促し、虐待を未然に防ぐ。 ①地域団体、関係機関及び住民から、支援が必要と思われる世帯等についての情報提供を促す。また、介護負担を軽減するためのサービスや制度を知ってもらう。 ②認知症サポーター養成講座にて虐待防止について周知を図る。	【1-2】 随時実施する（民生委員地区定例会、支会、介護サービス事業所等）。	【1-2】 ◎相談件数⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照 ◎他機関との連携回数（相談業務実績）⇒総合相談支援業務実績参照 ②認知症サポーター養成講座開催数⇒3回
【2】 虐待を受けている高齢者の安全を迅速に確保する。	【2-1】 虐待対応の際、迅速に関係部署や機関の協力を得ることが出来る。	【2-1-1】 ①八千代市及び関連部署、機関との連携を図ることが出来るよう普段からの連携や顔の見える関係作りに努める。 ②高齢者虐待防止地域連絡会及び高齢者虐待防止勉強会への参加。	【2-1-1】 ①随時。 ②随時。	【2-1-1】 ◎通報数・通報経路⇒虐待報告書参照 ◎対応延べ件数⇒総合相談支援業務実績参照 ◎分離・保護件数⇒虐待報告書参照 ◎通報数・通報経路⇒虐待報告書参照
	【2-2】 職員の高齢者虐待対応に関する知識や技能を向上させる。	【2-2-1】 ①高齢者虐待に関する研修への参加 ②権利擁護業務会議に参加。	【2-2-1】 ①三職種は年1回以上参加する。 ②月1回。	【2-2-1】 ◎研修及び会議参加回数⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 権利擁護事業

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【3】 判断能力が不十分であっても、高齢者が権利や財産を守ることが出来る。	【3-1】 判断能力が不十分な高齢者に対して、適切な支援が行える。	【3-1】 高齢者とその家族が成年後見制度を円滑に利用できるように支援する。 ①成年後見制度の利用について研修に参加 ②社会福祉協議会、後見支援団体、介護サービス事業所、病院等との情報交換と連携	【3-1】 ①年1回以上。 ②随時。	【3-1】 ◎研修会参加数⇒0回 ◎相談対応延べ件数⇒総合相談支援業務実績参照
	【3-2】 高齢者が消費者被害に遭わない。	【3-2】 ①消費生活センターとの情報交換及び連携。 ②消費被害防止等の研修会に参加。 ③警察からの情報を地域団体へ周知。	【3-2】 ①電話の情報共有 随時。 権利擁護業務会議での情報共有月1回。 ②適宜。 ③民生委員地区定例会・支会への参加:随時。 介護サービス事業所等(必要に応じて随時):年2回。	【3-2】 ◎相談対応延べ件数⇒総合相談支援業務実績参照 ◎研修会参加数⇒0回 ◎相談対応延べ件数⇒総合相談支援業務実績及び包括的・継続的ケアマネジメント業務実績参照

【実施結果】

高齢者虐待の通報件数は昨年度23件から本年度は17件に減少しているが、対応延べ件数は横ばいである。長期的なモニタリングを行うも、虐待行為が継続して見られているケースが多く、養護者支援や介護サービスの見直し等の支援を行っている。内容によっては虐待対応が終結しても後方支援を継続することもあるため、慎重に対応していきたい。一方、成年後見制度・消費者被害に関わる相談件数は昨年度よりも増加している。コロナ禍で親族がいても遠方のため来訪できない・身寄りがおらず長期間閉じこもり傾向にあった等の課題が浮き彫りとなり、近隣住民を中心に相談が寄せられることが多い。今後も地域住民向けに権利擁護に関わる情報を周知し、地域で我がこととして考えられるような体制を整えていきたい。

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【1】 高齢者等が住み慣れた地域 の中で生活出来る。	【1-1】 【重点目標】 高齢者等に対し、包括的かつ 継続的なサービスが提供され るよう、地域の多様な社会資 源を活用したケアマネジメント 体制の構築が行える。	【1-1-1】 地域生活を営む上で生活上の課題がある高齢者 等の相談に対して、必要なサービス、地域資源、専 門機関と連携して、高齢者等を支える支援体制を 構築する。 ①個別課題解決・ネットワーク構築・地域課題の発 見・地域づくり・資源開発・政策形成を目的とした地 域ケア会議を行う。 ②生活支援体制整備協議体と連携し、地域の社会 資源の把握や開発に参画する。 ③認知症地域支援推進員と連携し、圏域における 認知症高齢者の支援体制を構築する。 ④介護予防ケアマネジメント業務及び一般介護予 防事業会議(介護予防関連業務会議)に参加し、 介護予防施策や相談業務における医療連携の課 題について協議、検討する。	【1-1-1】 ①～④適宜。	【1-1-1】 ◎他事業との連携回数(相談業務実績)⇒総合相 談支援業務実績及び包括的・継続的ケアマネジメ ント支援業務実績参照 ◎包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績 参照
		【1-1-2】 地域住民や公的及び民間サービス、専門機関が、 高齢者を支える際に必要な情報や支援方針を共有 するための会議を開催や参加をする。 ①八千代市が行う八千代市地域ケア会議に参加 する。 ②圏域の介護支援専門員との事例検討や情報交 換、勉強会を行う。	【1-1-2】 ①個別支援に係る地域ケア会議及び 地域課題発見に係る地域ケア会議: 適宜。 ②年2回。	【1-1-2】 ◎個別地域ケア会議開催回数⇒1回 ◎八千代市地域ケア会議への出席回数⇒2回 ◎八千代台圏域の介護支援専門員との勉強会開 催数⇒1回(新型コロナウイルス感染症の影響によ り、計画は未達成であった)

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
		<p>【1-1-3】 高齢者が地域で孤立することを予防し、地域住民が高齢者の異変を発見できるよう、地域での見守りの目を増やす活動を行う。</p> <p>①地域ケア会議を活用し、支援者と情報共有を図る。</p> <p>②介護予防サロンや長寿会等の住民団体の活動に出向き、関係づくりを行う</p>	<p>【1-1-3】</p> <p>①適宜。</p> <p>②適宜。</p>	<p>【1-1-3】</p> <p>◎地域ケア会議開催回数⇒1回</p> <p>◎住民団体の活動へ参加した回数⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照</p> <p>◎他機関との連携回数(相談業務実績)⇒総合相談支援業務実績及び包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照</p>
	<p>【1-2】 高齢者等が介護支援専門員の支援を適切に受けられる。</p>	<p>【1-2-1】 介護支援専門員が、高齢者や高齢者を取り巻く関係者を支援する上で抱える悩みやケアマネジメント上の課題について解決へ結びつけることができる。</p> <p>①ケアマネジメント相談</p> <p>②地域資源についての情報提供と活用への働きかけ</p> <p>③支援困難ケース相談</p> <p>【1-2-2】 介護支援専門員のケアマネジメントの質の向上を行う。</p> <p>①研修会の開催</p> <p>②制度や地域資源の情報提供と活用への働きかけ</p> <p>③地域における介護支援専門員どうしのネットワーク構築</p> <p>④災害時対応について意見交換</p>	<p>【1-2-1】</p> <p>①～③随時。</p> <p>【1-2-2】</p> <p>適宜。</p> <p>①年間3回程度。</p> <p>②適宜。</p> <p>③年間3回程度。</p> <p>④適宜。</p>	<p>【1-2-1】</p> <p>◎介護支援専門員支援回数⇒事業所支援記録一覧表及び経過観察票参照</p> <p>◎介護支援専門員からの相談件数⇒事業所支援記録一覧表及び経過観察票参照</p> <p>◎解決事例件数⇒事業所支援記録一覧表及び経過観察票参照</p> <p>◎ケアプランによる地域資源の活用⇒ケアプランに地域資源の位置付けが確認できた。</p> <p>【1-2-2】</p> <p>◎参加回数⇒包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績参照</p> <p>◎開催回数⇒1回</p> <p>◎アンケート⇒1回</p>
	<p>【1-3】 地域住民が地域包括ケア体制の中で、適切な支援を受けられる</p>	<p>【1-3】 各センターの地域ケア会議等で出された地域課題の情報交換を行い把握する。</p> <p>①管理者会議</p> <p>②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務会議等、八千代市包括支援センター定例会議</p>	<p>【1-3】</p> <p>①・②月1回。</p>	<p>【1-3】</p> <p>◎会議参加回数⇒管理者会議 12回(書面開催含む)、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務会議 8回</p>

【実施結果】

令和3年度に向けて圏域ケアマネジャーに研修内容のニーズ把握のため、書面にてアンケートを実施。医療連携と災害対応のニーズがあったため、実施した民生委員との合同研修では独居高齢者の災害対応についての事例検討を行った。医療連携については、地域の医療関係者との研修を考えていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実現できず、来年度の課題となった。

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 認知症地域支援・ケア向上業務

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【1】 認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域で良い環境のもと、自分らしく暮らし続けることができるような地域づくりをする。	【1-1】 地域住民が、認知症について理解し地域で支えられる。	【1-1】 ①地域住民，地域関係者に対する認知症サポーター養成講座を実施する。 ②認知症ケアパスの普及啓発	【1-1】 ①年2回以上。 ②随時。	【1-1】 ◎認知症サポーター養成講座開催回数及び養成数⇒3回・計24名 ◎認知症サポーター養成講座以外の講座等の開催回数⇒2回
	【1-2】 認知症の状態に応じた適切なサービスが受けられるよう、他機関と連携を図りながら相談・支援できる。	【1-2】 ①他機関，認知症疾患医療センター等との相談・連携 ②認知症初期集中支援チームとの連携・協働	【1-2】 ①年1回以上。 ①年1回以上。	【1-2】 ◎総合相談支援業務実績参照 ◎総合相談支援業務実績，認知症初期集中支援チーム員会議の参加回数⇒3回
【2】 認知症及び認知症介護，地域・家族支援の理解し，より良い支援が行える。	【2-1】 認知症の早期における症状悪化防止のための支援と、認知症の疑いのある方のための支援を行う。	【2-1】 ①認知症地域支援・ケア向上業務会議の参加 ②認知症地域支援推進員現任者研修，認知症コーディネーターフォローアップ研修等の研修に参加 ③認知症キャラバンメイト養成及びスキルアップ等の研修に参加 ④認知症予防に関する調査・研究の収集と普及	【2-1】 ①月1回（程度）。 ②年1回以上。 ③年1回以上。 ④随時。	【2-1】 ◎会議の参加回数と理解⇒9回/新型コロナウイルス感染症拡大による影響がある中，試行錯誤して取り組んできた。既存の行事は継続し，来年度は更に充実を図る。 ◎研修の参加回数と理解⇒3回/認知症の方が増加する一方に対応する施策の整備が急務であると感じた。

【実施結果】

認知症施策推進大綱の施策の5つの柱のうち、予防や医療ケア、介護サービス、介護者への支援に繋がる取組みの一つとして、オレンジカフェを作る必要性の提案に多くの住民から賛同いただき、立ち上げ準備の支援を始めたところである。次年度に繋げていきたい。

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 生活支援コーディネーター業務

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【1】 高齢者が住み慣れた地域で社会資源を利用しながら生活できる。	【1-1】 高齢者や地域住民が、地域の社会資源を知ることができる。	【1-1】 地域団体の会議や支会会議に参加し、地域の社会資源等の情報を収集する。	【1-1】 随時。	【1-1】 ◎会議参加回数⇒包括的・継続的ケアマネジメント業務実績参照
	【1-2】 支援ニーズに合ったサービスの提供を受けることができる。	【1-2】 支援ニーズ、不足している社会資源を整理し解決策を検討する。	【1-2】 随時。	【1-2】 ◎会議参加回数⇒包括的・継続的ケアマネジメント業務実績参照
	【1-3】 【重点目標】 新たな生活支援の取り組みや、参加者・協力者が増えるようにする。	【1-3】 ①地域団体の会議や支会会議に参加及び住民向けの講座等で生活支援体制整備事業に対する周知を行う。 ②八千代台圏域の第2層生活支援体制整備事業協議体を開催し、地域団体やボランティア団体等と生活支援の目的や活動性の方向を共有する。	【1-3】 ①各地域団体の会議への参加・住民向けの講座等 随時。 ②第2層生活支援体制整備事業協議体 年2回、生活支援担い手、ボランティア養成講座の開催年1回以上、介護予防サロン及びボランティア団体との交流 通年。	【1-3】 ◎会議参加回数及び講座開催回数⇒包括的・継続的ケアマネジメント業務実績参照 ◎講座開催回数及び参加者人数、介護予防サロンやボランティア団体との交流回数⇒第2層生活支援体制整備事業協議体 2回(うち書面開催1回)、担い手養成講座 0回
【2】 地域福祉、生活支援体制整備に関する技能、知識を深めより良い地域づくりの支援が行える	【2】 職員の地域支援に関する知識や技能を向上させる。	【2】 ①生活支援コーディネーター業務会議に参加及び第1層生活支援コーディネーターとの連携・協働 ②生活支援整備事業に関する研修、住民主体の生活支援フォーラム、ボランティア養成に関する研修	【2】 ①年1回以上。 ②年1回以上。	【2】 ◎会議参加回数⇒生活体制整備事業における活動実績報告参照 ◎研修参加回数⇒生活体制整備事業における活動実績報告参照

【実施結果】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各活動が制限された中で一年であった。その中で、対面にて第2層生活支援体制整備事業協議体を実施し、認知症地域支援推進員と連携を図りながらの活動を行った。また、第2層生活支援体制整備事業の年間計画としては掲げられていなかったが、株式会社カスミと八千代市が買い物支援活動に係る地域の見守りに関する協定を締結し、令和4年3月21日から移動スーパーが運行開始となる。場所の選定は各支会・自治会・介護サービス事業所その他、地域の幼稚園や保育園等にも協力要請し、これまで交流のなかった場所との連携を図ることができた。その他、長寿会連合会会長との顔合わせと情報交換を行い、来年度は地域の長寿会連合会との交流を深める予定とした。

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 地域ケア会議推進業務

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
【1】 地域課題を地域に関する多職種で共有し、対応策を検討できる。	【1-1】 個別事例から地域の課題を抽出する。	【1-1】 ①地域ケア個別会議の実施 ②地域包括支援センター主催で会議の場を設け個別ケースの検討を行い地域課題を収集する。	【1-1】 ①年3回以上。 ②随時。	【1-1】 ◎地域ケア個別会議の実施回数⇒1回
	【1-2】 地域課題を多職種で共有し、対応策等を検討する。	【1-2】 ①八千代市地域ケア会議の参加 ②生活支援体制整備事業体等へ地域課題の報告	【1-2】 ①年1回以上。 ①年3回以上。	【1-2】 ◎八千代市地域ケア会議の参加回数⇒2回 ◎各会議の参加回数⇒2回(うち書面開催1回)
【2】 地域の介護支援専門員が自立支援の視点を持ってケアマネジメントが行える。	【2-1】 地域の介護支援専門員が自立支援に資する視点を持つことができる。	【2-1】 ①地域ケア個別会議の実施 地域ケア個別会議を行う際に地域の社会資源を活用した自立支援の観点を踏まえた検討ができる。	【2-1】 ①年3回以上。	【2-1】 ◎地域ケア個別会議の実施回数⇒1回 ◎ケアプランへの反映⇒ケアプランニ地域資源の位置付けを確認できた。
	【2-2】 課題解決のための地域包括支援ネットワークを構築する	【2-2】 ①八千代市地域ケア会議の参加 ②多職種協働研修等への参加	【2-2】 ①年1回以上。 ②年1回以上。	【2-2】 ◎八千代市地域ケア会議の参加回数⇒2回 ◎研修の参加回数⇒包括的・継続的ケアマネジメント業務実績参照

【実施結果】

新型コロナウイルス感染症の影響に関わらず、個別地域ケア会議の開催回数が未達成となったが、関係者間での情報共有及びケース会議は適宜行った。来年度は個別地域ケア会議の開催回数を増やし、地域課題の抽出や自立支援により重度化防止に努めたい。

令和3年度八千代市八千代台地域包括支援センター 事業報告

事業名 介護予防ケアマネジメント事業

目的	目標	活動内容	実施回数・時期	評価指標・評価方法
<p>【1】 高齢者自身が介護予防に積極的に取り組むことができ、健康が維持できる。</p>	<p>【1】 高齢者が自ら介護予防の取り組みが出来るよう支援する。</p>	<p>【1】</p> <p>①地域住民から介護予防のための活動の問い合わせがあった際に、介護予防サロンへの案内(サロンの運営、サロンへの参加)を取り入れる</p> <p>②各地区の介護予防サロンと連携し、介護予防サロンの健康教室等に協力する。</p> <p>③地域住民から介護予防のための活動の問い合わせがあった際に、介護予防サロンへの案内(サロンの運営、サロンへの参加)を取り入れる</p> <p>④既存の事業(いきいき教室、八千代元気体操)への案内をする。</p>	<p>【1】 通年。</p>	<p>【1】</p> <p>◎介護予防サロンに協力した回数⇒4回</p> <p>◎介護予防サロンに協力した回数⇒4回</p> <p>◎介護予防普及啓発事業の実施回数⇒15回</p>
<p>【2】 介護保険の理念に沿い、利用者の自立支援・重度化防止に資する介護予防ケアマネジメントを実施する。</p>	<p>【2】 利用者の健康状態、家族構成、身体的機能、社会参加の活動状況、生活環境や生活歴に応じ、その人の持つ強みを最大限に活用しながら、地域の社会資源を活用し、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを行う。</p>	<p>【2】</p> <p>①介護予防ケアマネジメント業務及び介護予防支援業務</p> <p>②居宅介護支援事業所に委託した介護予防ケアマネジメント業務及び介護予防支援業務の管理</p>	<p>【2】 通年。</p>	<p>【2】</p> <p>◎委託先との連携回数(帳票管理・相談件数)⇒介護予防支援月例及び経過観察票参照</p>

【実施結果】

新型コロナウイルス感染症拡大の中、感染対策を講じて介護予防教室を予定通り15回開催することができた。来年度は新たな開催場所や講師を迎え、地域住民の更なるフレイル予防に努めたい。また、コロナ禍で活動している介護予防サロン関係者と連携・協働し、ニーズ把握をした上で地域住民の健康増進にはたらきかけたい。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

令和3年度

①地域の連携体制構築支援（地域包括支援ネットワーク構築を含む）

月日	実施主体	事項	目的（該当の項目に○を付けてください）					参加人数・効果
			包括PR	虐待防止	認知サポーター	他機関連携	地域ケア会議	
4月9日	東南民児協	定例会						2名(川邊・志澤)
4月14日	西北民児協	定例会	○			○	【包括より】 ①新入職員の挨拶 ②相談件数・内容の傾向・消費者被害 ③コロナ禍での活動(いきいき教室のお知らせ・2層協議体)	2名(森田・志澤) コロナ禍にて積極的な活動はできないものの、各民生委員が地域住民に対してどのように支援したら良いかと頭を抱えていることが分かった。その中で協働して高齢者等を支えられる仕組みを一緒に整備していきたい。
4月17日	西北支会	八千代台地区4支会合同研修	○			○	①社協について ②八千代げんき体操 【包括より】 ①今後の連携について ②生活支援体制整備事業について	3名(竹内・森田・志澤) これまで4支会合同での研修がなかったため、とても新鮮であった。見渡すと地区に関わらず情報共有をしている姿があり、合同で行うことで更に地域の力となる感じが取れた。今後も継続して行えると良いと思う。
4月24日	北東支会	総会・定例会						1名(森田)
4月26日	南支会	定例会						1名(森田)
5月12日	西北民児協	定例会	○				【包括より】 ①いきいき教室の案内 ②電話で詐欺の注意喚起 ③地区小中学校との交流会	2名(志澤・根本) 地区の小中学校・中学校からの情報があり共有する。
5月17日	南支会	認知症サポーター養成講座			○			1名(竹内) 地域住民12名参加。 認知症の知識と対応について学んだ。 支会とのコラボ企画で、連携強化の機会となった。
5月18日	西北支会	定例会	○				①支会長会議報告 ②総会報告 【包括より】 ①いきいき教室案内 ②電話詐欺 ③コロナワクチンについて	1名(志澤)
5月24日	南支会	定例会	○				【包括より】 ①いきいき教室の案内 ②認知症サポーター養成講座のお礼 ③詐欺事件についてのアナウンス	
2021/5/3 1 2021/6/2 3	大和田包括支援センター	大和田圏域ケアマネジャー向け研修					2回シリーズの研修。 BCPIについて。	介護報酬改定に合わせたBCPIの研修。八千代台圏域のケアマネジャーへの研修に生かせる、内容の濃い研修だった。
6月1日	東支会	定例会	○				【包括より】 ①新入職員の挨拶 ②いきいき教室のお知らせ	2名(志澤・根本) 東支会だよりのリニューアル検討。
6月9日	西北民児協	定例会	○				【包括より】 ①7月のいきいき教室の案内 ②コロナワクチン予約からみえた高齢者の現状について	1名(竹内)
6月11日	東南民児協	定例会	○				【包括より】 ①7月のいきいき教室の案内 ②コロナワクチン予約からみえた高齢者の現状について	2名(森田・志澤)
6月15日	西北支会	定例会	○				【包括より】 ①8月のいきいき教室の案内	1名(志澤)
6月28日	南支会	定例会						1名(志澤)
7月7日	元気サロン(北東支会)	元気サロン	○				生活支援コーディネーターと認知症地域支援推進員より、認知症について話し、今後の地域資源への発展へつなげる。	2名(森田・根本) 参加者36名。生活支援コーディネーター森田、認知症地域支援推進員根本より「認知症を知ろう」をテーマに住民へ伝え、今後認知症カフェ等、認知症の方の居場所づくりの提案を行い、多くの方から賛同を得る。
7月9日	東南民児協	定例会	○				①各機関からの連絡 ②コロナ禍の民生委員活動について ③事例報告	2名(森田・房間)
7月14日	西北民児協	定例会	○			○	・定例会で房間社会福祉士の紹介 ・9/8民生委員・ケアマネジャー交流会にむけて介護保険制度の説明とケアマネジャーの説明。	2名(竹内・房間) 30名 新任の民生委員が3分の1なのでホームページと介護保険被保険者証を用いて説明。
7月14日	八千代市在宅医療・介護連携支援センター	八千代市在宅医療・介護連携支援センター研修(ZOOM) 「生活の中で服薬を支える一せっかく飲むなら有効に」				○	【薬局の現状】 ①医薬分業の成果②薬剤師は何する人？ ③真のかかりつけとは？④在宅をどう捉えるのか？⑤セルフメディケーションとアドヒアランス⑥地域包括ケアシステム	2名(竹内・森田) 医療機関と比較すると、薬局と連携を図る機会は圧倒的に少ないと思う。今回の研修を受けて、高齢者支援にあたって薬局をもっと巻き込んで良いことが分かった。

7月20日	西北支会	定例会	○				災害時パートナーシップ協定締結について 今後の活動計画について ～災害時にいきる日頃のつながり～ ～支えあいの体制づくりについての研修	2名(志澤・房間) ～災害時にいきる日頃のつながり～ 支えあいの体制づくりについての研修では、スライドを用いて説明がありとても理解しやすいものだった。
7月26日	南支会	役員定例会	○				就労準備支援事業の支援について 出前寄席開催について ふれあい祭りの開催について	2名(根本・房間) 2年間開催をあきらめていたものを、何か一歩でも踏み出して、これまでとは違った形であっても開催できるように、連携を図りながらすすめていこうという話し合いがなされた。
7月28日	千葉県健康福祉部 高齢者福祉課 地域活動推進班	生活支援体制整備事業に係る 市町村研修会					「地域支援事業の要」生活支援体制整備 事業 ①生活支援体制整備「事業」とはなにか ②自立支援における生活支援の役割 ③協議体？いらねえよ、そんなもん	1名(森田) 給付と事業の違いが分からないまま進めていたことに気づいた。地域づくりとは何か、どうしたら生活支援体制整備事業といえるのか、今一度考えないといけないと思った。
7月30日	八千代市社会福祉協議会	担い手養成講座 『ご近所の支え合い』 ～生活支援体制整備事業とは～					1. 講座『ご近所の支え合い』 2. パネルディスカッション 3. グループワーク	1名(森田) 八千代台地域からはユーアイやちよのパネルディスカッションがあった。また、これまでお会いしたことのない参加者との交流もでき、今後の活動にも期待できる。支会やボランティアにも繋げられると考えている。
8月23日	東葛飾南部圏域地域リ ハビリテーション広域支 援センター：協力やちケ ア	摂食嚥下の基礎とミールラ ウンドにおける外部評価の極意	○				ミールラウンドの取り組みと事例報告 嚥下機能の基礎と疾患別の嚥下の特徴	森田・竹内参加 医療職・福祉職22名の参加。今後連携強化をしていきたい、やちケアとの協力開催であったため、今回の研修がきっかけづくりの一つとなるよ。
8月24日	リハプライド・やちよ台	運営推進会議	○				コロナウイルス感染症感染予防のため書 面開催。	書面にて開催。コメントをFAXで返答する。
8月30日		令和3年度千葉県高齢者虐待 防止対策研修		○				(森田・房間参加)
9月4日	北東支会	北東支会役員会	○				(包括より) 新入職員挨拶 ・避難所運営委員会実施報告 ・友愛訪問買出しの報告 ・食材配布について	(森田・房間2名参加) ・学童保育への協力についてさまざまな意見あり。コロナ禍でさまざまな考えや立場の違いがあることを改めて認識。
9月7日	東支会	東支会全体会	○				(包括より) 新入職員挨拶 ・バス研修実施・東学童との交流事業 ・赤い羽根街頭募金中止・秋祭り実施	(房間・実習生2名参加) ・感染防止対策を行いながらバス研修や学童との交流など、やれる範囲でおこなっていているのが難しさも感じた。
9月14日	高齢者複合施設 グリーンヒル八千代台	運営推進会議				○	・小規模多機能型居宅介護報告 ・特別養護老人ホーム報告	竹内1名
9月21日	三井住友信託銀行 八千代支店	認知症サポーター養成講座	○	○	○		行員9名に対し、標準教材・独自資料を用 いた講義を行った。 対応時に苦慮したことに対し質問を受ける 等、より実務的な内容となった。	2名(森田・根本)
10月7日	千葉県健康福祉部高齢 者支援課認知症対策推 進班	令和3年度 第1回千葉県 キャラバンメイト養成研修				○		根本1名(50名参加) キャラバンメイトの養成研修を受講。認知症の方を地域で 支えるためにグループワークも行い、実際現場に出るた めの講座運営の実際について学ぶ。今後の活動にいか すために勉強になった。
10月7日	千葉県健康福祉部高齢 者支援課認知症対策推 進班	令和3年度 第1回千葉県 キャラバンメイト養成研修				○		根本1名(50名参加) キャラバンメイトの養成研修を受講。認知症の方を地域で 支えるためにグループワークも行い、実際現場に出るた めの講座運営の実際について学ぶ。今後の活動にいか すために勉強になった。
10月8日	東南民児協	定例会	○				(包括より) いきいき教室の案内。 10月14日認知症家族交流会の案内。	2名(志澤・根本) 藤村民生委員が委嘱された報告あり。訪問活動の留意 点でペット同伴の訪問はしないように注意あり。
10月8日	防災寺子屋	社会福祉協議会	○				八千代台中学校にて(避難所運営)につい て生徒と地域住民と交流する。	2名(志澤・根本) カードを用い、実際避難してきた人の対応をいかに誘導 するか、生徒とともに考えた。校舎の有効活用が検討さ れる。
10月8日	八千代市薬剤師会	地域包括支援センターとの連 携研修会	○			○	八千代台圏域の薬局と包括でWEBでの 交流を行なった。 今後の連携においてよい機会となり、この 研修をきっかけにして繋がりを作っていき たい。	森田・竹内・根本
10月13日	西北地区民生委員・ 八千代台包括コラボ企 画	民生委員とケアマネジャー交 流会	○			○	西北地区民生委員と八千代台圏域の居宅 介護支援事業所・小規模多機能型居宅介 護・看護小規模多機能型居宅介護で働く ケアマネジャー合同研修。事例を通してグ ループワークを行なった。	民生委員とケアマネジャー合わせて40名程度。 包括からは竹内・森田・房間・河島・内田参加。
10月20日	究 石匠(キミセキヨウ)	認知症サポーター養成講座	○	○	○		店員3名に対し、標準教材を用いた講義を 行った。	1名(森田)
10月21日	千葉県	地域ケア会議に係る市町村研 修会					山口県防府市で行なっている地域ケア会 議の報告とオンタイムで地域ケア会議を視 聴。 今後、地域ケア会議を包括主催で行なっ ていく上で会議の手法や帳票について参考	森田・竹内
10月22日	東支会	芋掘り	○				吉垣会長の畑に、東小学童の児童と一緒 に芋掘りと落花生掘りをおこなった。	2名(房間・実習生)参加 学童の児童とも交流をもち、また東支会と子どもの交流 事業と一緒に体験することができた。
10月27日	北東支会	北東支会役員会	○				(包括より) オレンジカフェの件 11月23日ふれあいイベント参加要請の 件	1名(根本) 7月7日の元気サロンにてオレンジカフェ設立の提案を行 い協力していただけた方の相談をする。後日検討予定。1 1月23日ふれあいイベント参加要請あり。

11月1日 ～ 11月30 日	千葉県がんセンター	ウェブ研修					令和3年年度 第1部地域緩和ケア研修 会視聴	1名(根本) 鎮痛薬の分類と、現状の鎮痛薬の選択について学ぶ。
11月6日	北東支会	北東支会定例会	○				(包括より) オレンジカフェの件 防災訓練参加の件 世代間交流参加の件	2名(森田・根本) オレンジカフェにむけて協力いただける方に12月15日 13:30より北東自治会館での話し合いについて話し 協力依頼する。
11月9日	グリーンヒル八千代台	運営推進会議				○	①小規模多機能型居宅介護状況について ②特別養護老人ホーム状況について	1名(森田)
11月10日	西北民児協	定例会	○			○	10月に実施した圏域CM交流会の交流会 の報告及び第2層生活支援協議体にて作 成したやっちカードの活用について説明。	2名(竹内・森田)
11月12日	認知症疾患医療セン ター	第9回介護・医療従事者向け 多職種協働認知症セミナー				○	認知症疾患医療センターと認知症地域支 援推進員との連携企画	80名前後。包括3名(房間・内田・根本) 「精神科受診に繋ぐポイント」を精神保健福祉士 池城 氏、「認知症の種類について」八千代病院認知症疾患医 療センター長 三浦医師よりご講義いただく。
11月17日	千葉県健康福祉部高齢 者福祉課認知症対策推 進班	令和3年度第1回千葉県 認知症施策推進セミナー					認知症施策の進め方について 認知症施策の取組紹介(富津市・九十九 里市)	包括1名(根本) 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課認知症 総合戦略企画官(併)地域づくり推進室長 菱谷文彦氏 からの講義と、富津市・九十九里市の認知症施策の取り 組みの紹介をうける。
11月18日	八千代市地域生活支援 センター	誰もが楽しく暮らすまちづくり について	○			○	米本団地の実践事例報告をふまえ、まち づくりについて質疑応答を行なった。	2名(森田・竹内) 地域包括ケア実践に向けて多職種連携のため挨拶を兼 ねて研修を受講した。
11月20日	八千代台東町会	八千代台東秋祭り	○				東町会主催の秋祭り。	3名(志澤・房間・竹内) 祭りの手伝いや地域住民の様子、 町会や支会、民生委員、社会福祉協議会、市議会議員 等への挨拶を行い、顔の見える関係づくりができた。
11月21日	八千代中学校 避難所運営委員会	令和3年度第2回 八千代中学校 避難所運営委員会				○	避難所開設運営訓練 初期消火訓練 応急担架取扱訓練 防災倉庫資機材取扱訓練 物資配給訓練	1名(森田) 八千代中学校生徒・北東自治会自主防災会・北東支会・西北民児協が中心 となり準備。地域住民は15名程度で計70～80名参加。地域住民とともに左記 訓練を実施し、災害時に想定される課題について共有できた。
11月22日	南支会	定例会	○				八千代元気体操 「就労準備支援事業」支援 地域住民との交流 千葉県優良地区・支部社会福祉協議会功 労賞	5名、包括1名(根本)第1月曜日の体操後の公園内清掃 を継続する。11月29日「出前寄席」参加者募集中。公園 内でお年寄りも参加できる地域住民との交流でポッチャ 採用。千葉県優良地区・支部社会福祉協議会功労賞に 南支会が受賞された等報告あり。
11月23日	北東支会	ふれあい 世代間交流	○			○	北東支会中心に「ふれあい」世代間交流事 業開催	包括2名(志澤・根本) 世代間交流として、袋に子どもと大人の書いた絵を作成 し、書いてくれた子どもにパンの配布。赤い羽根募金の協 力。八千代台地域包括支援センターで相談ブースを設け ていただき、包括の普及啓発、相談対応を行う。
11月25日	ディサービス オガール八千代台	運営推進会議				○	令和3年度第9回運営推進会議。 コロナウイルス感染症予防の観点から書 面開催。	竹内記載。 登録者状況、職員状況、事故苦情報告、活動報告等。 包括コメント欄に記載し11/25にFAX送信。
11月30日		令和3年度第4回 近隣医療機関連携会議	○			○	①前回の議事録確認 ②各機関議事録確認 ③情報交換 ④その他	1名(森田) 近隣医療機関よりMSW6名が出席。新型コロナウイルス 感染症の流行がやや収まってきたところで、空床がある 病院もある。また、医療機関の老健や介護医療院に係わ る意識が分かった。
12月4日	栃木県社会福祉士会	社会福祉士実習指導者講習 会					実習生受け入れに対する指導者研修	1名(房間) 今後、実習生の受け入れに対する指導方法、受け入れ の環境づくり、法人への働きかけなど、オンライン研修に て学んだ。
12月6日	千葉県社会福祉士会	千葉県高齢者虐待防止対策 研修				○	虐待防止法の基礎・ミッションとしての権利 擁護・初動期段階、対応段階、評価と終 結、事例と帳票、養護者の特性、モチベ ーション維持等。	1名(房間) 段階別の対応方法や、養護者の特性に応じた対応方法 等を学ぶことができた。
12月7日	東支会	定例会	○			○	4支会合同のポッチャ大会について 新年会・バス研修・春祭りについて	1名(房間) コロナの状況により、さまざまな催し物に影響が出てい るが、形を変えながら実施の方向へ向かい動いているの で、できる限り包括も協力できるようにしていきたい旨、伝 えた。
12月8日	西北民児協	定例会	○			○	酒井民生委員が千葉県社会福祉協議会 会長表彰・永年勤続10年表彰。八千代市 ひきこもり等に関する実態調査の依頼。一 斉改選の意向調査依頼。家計改善支援の 話し等。	1名(根本) 包括より、なかなか介入できない家庭に身近な民生委員 との同行訪問でつながるケースあり、今後も協力依頼。コ ロナも怖いがフレイルも懸念し今後も活動をしていきたい 旨伝える。
12月10日	東南民児協	定例会	○				報告。生活保護申請書の民生委員意見書 について、民生委員の中で話し合う。	1名(根本) 包括より、日頃の支援の感謝と今後も協力依頼をする。 北東支会、東支会と協力者で、オレンジカフェの立ち上げ を検討している旨報告。
12月12日	千葉県地域包括・在宅 介護支援センター協会	地域包括センター職員研修 (初任者)					地域包括支援センターの役割及び期待 総合相談支援業務について 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 について 権利擁護について 自立支援に ついて等	zoom研修2名(志澤・房間) 地域包括支援センターの役割から、それぞれの業務にも とめられるものについて学ぶことができた。これから業務 を担っていく上での核をまなぶことができた。
12月14日	ナーシングホーム八千 代台	運営推進会議	○			○	状況報告 事例検討	ナーシングホーム八千代台 鈴木管理者・酒井ケアマネ 民生委員2名・小規模多機能事業所2事業所・八千代台 包括。 事業所の状況報告と事例検討を各立場から検討をした。
12月15日	八千代市	ケアマネジャー向け研修会					八千代市で働くケアマネジャーを対象とし たソーシャルワーク技術研修。	ソーシャルワーク技術の基本を学ぶことで日頃のケアマ ネジャー業務のみならず総合相談にも活用できる内容で あった。

	千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会	令和3年度千葉県地域包括支援センター職員研修(現任者)						「複合的な課題を抱える世帯への包括的な相談支援」 「コロナにほけるソーシャルワーク実践」 「社会的孤立を踏まえた支援を考える」	竹内・森田・根本
12月29日		年末挨拶回り	○					西北地区・東南地区民生委員長・各支会会長・山崎司法書士・渡邊行政書士・東町会会長	竹内・森田
1月4日	東支会	定例会	○					定例会に参加・包括から新年の挨拶・1月31日に開催予定のオレンジカフェの案内と協力依頼。	竹内・森田
1月11日	グリーンヒル八千代台	運営推進会議					○	①小規模多機能型居宅介護状況について ②特別養護老人ホーム状況について	1名(森田) コロナ禍ではあるが、餅つきをはじめ季節行事を取り入れ、入居者・利用者が楽しむ機会を確保していることがよく分かった。BCPの提示があり、包括・地域住民が連携をとって支援できる体制づくりに努めたいと思った。
1月12日	西北民児協	定例会	○					①各課報告(生活支援課・障害者支援課・長寿支援課・社会福祉協議会・包括) ②高齢者部会代表者会議報告 ③部会報告 ④その他	2名(竹内・森田) 新年早々に民生委員との同行訪問等、早速連携をとっていることについて謝辞を述べた。民児協前後の時間も民生委員が列を成して声をかけてくれており、今年も引き続き協働できる期待が持てた。
1月14日	東南民児協	定例会	○					①各課報告(生活支援課・障害者支援課・長寿支援課・社会福祉協議会・包括) ②高齢者部会代表者会議報告 ③部会報告 ④その他	2名(竹内・森田) 八千代台の高齢化率と東南地区の高齢者率やケースの傾向について伝える。会議前後に民生委員からの相談もあり、今年も引き続き協働できる期待が持てた。
1月15日	北東支会	定例会	○					①12月、1月の報告事項 ②オレンジカフェ・元気サロン等について ③ポッチャ練習	1名(房間) コロナの感染状況悪化により各種催し物などに変更があるが、そのなかでも、ポッチャ大会の実施に向け取り組みがみられ、包括も共に取り組む準備が出来た。
1月17日	千葉県高齢者福祉施設協会	居宅・施設介護支援専門員現任研修					○	居宅介護支援の虐待防止の為の措置への対応について	1名(房間)参加 虐待防止検討委員会の設置運営・虐待防止の為の指針の整備・虐待防止の為の従業者に対する研修の実施、それらの措置をおこなう担当者の設置などについて学んだ。
1月24日	南支会	定例会	○					①コロナウイルス感染症蔓延防止等聖地期間中の元気体操の実施について ②就労準備支援事業の支援について ③出前寄席の反省 ④事業計画 ⑤総合について	1名(竹内) 新年の挨拶・八千代台地区の高齢者の近況報告を行なった。次年度企画のポッチャについては3月ごろから元気体操後に行えるように役員で練習を行なうこととなった。包括の参加依頼あり。
2月1日	東支会	定例会	○					①春まつり、バス研について ②スポーツフェスタの案内	1名(志澤) オレンジカフェについてはコロナが落ち着いたら再度話し合うことを伝える。
1月28日	認知症疾患医療センター	第15回東葛南部認知症疾患医療連携協議会						(八千代病院デイケアセンター内にて開催予定)	1名(根本) 新型コロナウイルス感染拡大あり会議が中止となる。
1月29日	第9回認知症疾患医療センター全国研修会福井大会実行委員会	認知症疾患医療センターの役割その一歩先へ						シンポジウム オンライン開催受講	1名(根本) 認知症の鑑別診断、専門医療相談、地域とのつながりについて受講。認知症フレンドリー社会を目指して、福井県におけるチームオレンジ・ピアサポート等の取り組みについて学び、今後の活動にいかす。
2月9日	千葉県歯科医師会	口腔機能管理研修会	○					①摂食嚥下について ②口腔ケアについて ③認知症患者さんへの対応について ④進化から口腔機能を捉える ⑤2029ソング健康ダンス	1名(竹内) 中澤歯科の中澤歯科医師より研修の情報提供があり受講に至った。学んだ研修を地域のケアマネジャーや介護事業所に発信していきたい。地域包括ケアを実践していく上でも歯科医との連携は重要と考える。
2月15日	西北支会	定例会	○	○				①今年度の活動 ②八千代台地区4支会合同活動 ③決算に向けて ④すばる再開時期 ⑤ふれあいフェスタ ⑥包括より(虐待防止啓発) ⑦社協より(子どもの虐待、Zoom研修のお知らせ)	1名(森田) 本報では最大15名程度、金曜体操は20名超が参加している。特に金曜体操では「コロナ禍で行く場所がなくて…」と参加する地域住民が増えた。3/27(日)開催予定の4支会合同活動は、これまで以上に支会の横の繋がりを強められる機会となる期待が持てる。
3月4日	NPO法人やちけあ	第2回NPO法人やちけあ交流会	○					①やちけあについて ②在宅医療・介護連携について ③意見交換会	3名(竹内・森田・房間) オンラインでの実施であったが、同職種・多職種に分かれて在宅ケアでの困りごとに関して意見交換を実施することができた。医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護事業所・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター一体となり、今後も地域住民に対する支援体制を整えやすくなるのではないかと考えた。
3月8日	グリーンヒル八千代台	運営推進会議	○					①小規模多機能型居宅介護状況について ②特別養護老人ホーム状況について ③カスミの移動スーパーについて ④小規模多機能型居宅介護サービス評価について	1名(森田) 職員の感染症予防に係る対策についての説明があり、十分な対策をしながら支援していることがよく分かった。LOVOT等IT関連ツールを活用し、利用者への処遇に関しても随時取り組まれている姿勢が伝わってきた。移動スーパーに関する情報提供の際には何かあればSC宛に連絡してもらいたいと周知した。
2月16日	西北民児協	定例会	○					①各課報告(生活支援課・障害者支援課・長寿支援課・社会福祉協議会・包括) ②高齢者部会代表者会議報告 ③部会報告 ④その他	1名(根本) 包括より虐待について、身体的な虐待のみならずその他のいろいろな虐待があることを伝え、身内に関わらず近隣の方でも気になる方がいたら守秘義務は守るためご相談いただくよう伝える。包括タイムで相談対応。
3月9日	西北民児協	定例会	○					①各課報告(生活支援課・障害者支援課・長寿支援課・社会福祉協議会・包括) ②高齢者部会代表者会議報告 ③部会報告 ④その他	1名(根本) 3月21日より開始されるスーパーカスミの移動販売について情報提供をする。包括タイムを設け、会議後相談対応をする。
3月11日	東南民児協	定例会	○					①各課報告(生活支援課・障害者支援課・長寿支援課・社会福祉協議会・包括) ②高齢者部会代表者会議報告 ③部会報告 ④その他	1名(根本) 3月21日より開始されるスーパーカスミの移動販売について情報提供をする。事例紹介あり認知症について話す。包括タイムを設け、会議後相談対応をする。
3月14日	全国社会福祉協議会	令和3年度 全国地域包括・在宅介護支援センター研修会						①地域包括ケアの推進に係る国の政策動向について ②要支援者の避難行動支援について ③社会福祉施設が作成するBCPとは	2名(竹内・森田) 「なぜ地域包括支援センターにBCPがないか？そもそも存続しないといけない機関であるから」ということがとても印象に残った。これまでも地域住民に対し、地域包括ケアシステムについて説明する機会があったが、理解してもらいにくい内容であった。その中で、今回の災害に関わる内容であれば、災害時にどう避難するか・地域としてどう復旧させるか、地域の支え合い活動として捉えてもらうことが大切だと学んだ。
3月15日	西北支会	定例会	○					①令和4年度計画について ②赤い羽根共同募金の報告―千葉県で八千代市が一位の募金額だった。 ③包括からアナウンスカスミのアナウンス・2月の八千代台地区の詐欺被害の報告と注意喚起。	1名(竹内)・実習生 移動販売のカスミ開始のアナウンスをしたところ、買物困難地域が八千代台西10丁目であることを福祉委員からの声があがった。改めて西10丁目地区への回覧を行なうこととした。 電話詐欺については、地域の独居や高齢者世帯で気になる方がいたら福祉委員からも注意喚起をお願いした。

令和2年度生活体制整備事業における活動実績報告（4月から6月分）				
	日付	活動実績	活動範囲（複数可）	備考
1	4/14(水)	八千代台西北地区民児協定例会に参加。	①②⑥	別紙参照
2	4/17(土)	八千代台地区4支会合同研修に参加。		
3	4/24(土)	八千代台北東支会総会・全体会に参加。		
4	4/26(月)	八千代台南地区支会役員会に参加。		
5	5/10(月)	とくし丸の見学。	①	八千代台東5丁目の訪問販売の様子を見学した。食品から日用品まで積載しており、数名の近隣住民が集まって買い物をしていた。高齢者より「直接お店に行ければ良いけれど、行けない身体だから、こうやって回って来てもらえると助かる」と聞き取り。
6	5/24(月)	マップ掲載の可否確認。	①②	ふれあいサロンやちよ北・元気サロン・東四健遊会・悠遊サロン若葉・元気サロンきぼう・ワイワイ音絵体Clubに確認。
7	5/28(金)			元気サロンきぼう・すばるシニア会・サロン愛宕に確認。
8	6/11(金)	八千代台西北地区民児協定例会に参加。	①②⑥	別紙参照
9	6/25(金)	生活支援コーディネーター合同会議	④	
10	6/28(月)	とくし丸についてCMに情報提供	①	
11				
12				
13				

※活動範囲については仕様書活動範囲の①から⑥を選んで記入すること

※活動実績で参加した会議については、資料の添付と会議についての報告書（別紙）を提出すること

令和3年度生活体制整備事業における活動実績報告（7月から9月分）				
	日付	活動実績	活動範囲（複数可）	備考
1	7/2(金)			7/7(水)元気サロンにて、認知症地域支援推進員と認知症や居場所作りについての講義を行う。 今後オレンジカフェ創設に繋げていきたいと考えている。 八千代市社協 斎藤CSWよりご協力いただける旨確認した。
2	7/7(水)	北東支会オレンジカフェ創設に向けて	①⑤	認知症地域支援推進員と認知症や居場所作りについての講義を行う。 今後オレンジカフェ創設に繋げていきたいと考えている。 アンケート及び報告用のチラシで協力者を募る（詳細は別紙参照）。 他支会からも参加者があり、他支会のサロンでも今後講義をしてもらいたいと依頼あり。
3	7/28(水)	生活支援体制整備事業に係る市町村研修会に参加		別途資料参照
4	8/3(火)	八千代台東支会役員会に参加	①②⑥	別紙参照
5	8/27(金)	生活支援コーディネーター合同会議	④	
6	9/14(火)	生活支援コーディネーターフォローアップ研修に参加		別途資料参照
7	9/17(金)	とくし丸の情報提供	⑥	総合相談のケースで買い物に苦慮している高齢者がおり、とくし丸について情報提供を行った。

※活動範囲については仕様書活動範囲の①から⑥を選んで記入すること

※活動実績で参加した会議については、資料の添付と会議についての報告書（別紙）を提出すること

令和3年度生活体制整備事業における活動実績報告（1月から3月分）				
	日付	活動実績	活動範囲（複数可）	備考
1	1/4(火)	八千代台東支会全体会に参加	①②⑥	別紙参照
2	1/6(木)	カスミの駐車場所候補について	/	⑤ヤクルト販売八千代台センター…不可 ⑥八千代リハビリテーション学院…不可 ⑦ユーアイやちよ…確認くださるとのこと。
3	1/12(水)	八千代台西北地区民児協定例会に参加		①②⑥
4	1/14(金)	八千代台東南地区民児協定例会に参加	①②⑥	別紙参照
5	1/7(木)	カスミの駐車場所候補について	/	⑧茶々おおだみなみ保育園…不可 ⑨グリーンヒル八千代台…可 ⑩敬老園…確認くださるとのこと。 ⑪ソレイユナーサリー八千代台…時間指定に応じれば可→カスミが対応できず
6	1/11(火)			⑩敬老園…可
7	1/20(木)	移動スーパーのスケジュールについて	/	①西オーガスタ管理組合法人…OK ②北東自治会…予定表が欲しい→郵送する ③敬老園…OK ④東町会…OK ⑤ケアパートナー八千代台…担当者不在にて郵送
8		担い手養成講座の中止		⑤
9	1/26(水)	移動スーパーに関する問い合わせ	/	北東自治会より、開始予定・頻度・運用方法について問い合わせあり。
令和3年度生活体制整備事業における活動実績報告（1月から3月分）				
	日付	活動実績	活動範囲（複数可）	備考

10	2/15(火)	八千代台西北支会定例会に参加	①②⑥	別紙参照
11	2/17(木)	移動スーパーの販売場所管理者に同意書をもらう	/	東町会…崎村会長より 頂戴する。
12	2/18(金)			西オーガスタ管理組合 法人…黒木理事長より 頂戴する。 北東自治会…星会長より 頂戴する。
13	2/25(金)	生活支援コーディネーター合同会議	④	
14	3/8 (火)	移動スーパーのチラシ送付	/	八千代台南町会・やよい 会・八千代台南元町 町会・八千代台西自治 会・あさひ自治会・高 津新田自治会に郵送す る。
15	3/16(水)			愛宕自治会・愛宕みど り会・八千代台西団地 第二自治会・五月会・ つつじ自治会・西端自 治会・緑会に郵送す る。
16	3/18(金)	移動スーパーに関する問い合わせ	/	愛宕みどり会 桑名会長 より、当該自治会の最 寄りの販売場所・運用 方法について問い合わせ あり。
17	3/22(火)	2層協議体の資料を郵送する	①②③⑤⑥	別紙参照
18	3/23(水)	移動スーパーの見学	①⑥	八千代台西オーガスタ での移動販売を見学。 時間前より地域住民が 集い、最終的には約20 名が利用した。

※活動範囲については仕様書活動範囲の①から⑥を選んで記入すること

※活動実績で参加した会議については、資料の添付と会議についての報告書（別紙）を提出すること

介護予防支援月次報告

八千代市八千代台地域包括支援センター

① ケアプラン作成件数

	新規										再作成										計		
	竹内	森田	根本	志澤	房間			内田	河島		計	竹内	森田	根本	志澤	房間			内田	河島			計
地域包括支援センター作成	0	0	0	4	6	0	0	7	2	0	19	5	1	1	4	5	0	0	36	9	0	61	80
一部業務委託事業者作成											58											130	188
計											77											191	268

② 訪問件数

★実数											☆実数										延数											
竹内	森田	根本	志澤	房間			内田	河島		計	竹内	森田	根本	志澤	房間			内田	河島		計	竹内	森田	根本	志澤	房間			内田	河島		計
0	0	0	6	5	0	0	7	2	0	20	0	3	7	12	8	0	0	6	8	0	44	28	17	31	16	30	0	0	169	116	0	407

★実数…新規ケース(契約を伴い、アセスメントをした場合)

☆実数…前年度より継続ケースで今年度において初回訪問。一部委託や他の職員の受け持ちケースを引き継いだ場合。

延 数…モニタリング訪問・評価訪問・担当者会議等(住宅改修を含む)を計上

③ 電話・来所件数

		件数										
		竹内	森田	根本	志澤	房間			内田	河島		計
電話件数	ケースに関連する内容 ※	360	228	203	169	128	0	0	288	619	0	1995
	ケース以外の内容	105	44	0	33	2	0	0	0	16	0	200
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ケースに訪問調整やモニタリング。委託ケースに関する相談、事業所との連絡調整も含む

		件数										
		竹内	森田	根本	志澤	房間			内田	河島		計
来所	ケースに関連する内容 ※	150	55	3	0	5	0	0	5	4	0	222
	ケース以外の内容	75	21	0	0	0	0	0	0	1	0	97

※委託ケースに関する相談を含む